

# 簡単インストーラ Ver.2.0

ユーザーズマニュアル

### ご注意

- (1) 本書の内容については、将来予告なく変更する場合があります。
- (2) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一謝り、又はお気づきの点がございましたら、ご連絡くださいようお願いいたします。
- (3) 本ソフトウェアおよび本書を運用した結果に関しては(2)に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (4) 本書に記載されている操作と異なる操作をした時、あるいは記載されていない操作をした時の結果については、nobukichi は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 目次

|                |                                    |    |
|----------------|------------------------------------|----|
| 1.             | はじめに.....                          | 5  |
| 2.             | マニュアルの読み方.....                     | 6  |
| 2.1.           | マニュアルの表記規則.....                    | 6  |
| 3.             | サポートについて.....                      | 6  |
| 4.             | 簡単インストーラのセットアップ.....               | 7  |
| 4.1.           | セットアップ前に確認しておくこと.....              | 7  |
| 4.2.           | セットアップ.....                        | 8  |
| 5.             | 簡単インストーラをアンインストールする.....           | 13 |
| 6.             | 簡単インストーラを使用する.....                 | 16 |
| 6.1.           | 簡単インストーラの起動.....                   | 16 |
| 6.2.           | 新規にプロジェクトを作成する.....                | 17 |
| 6.3.           | アプリケーションに関する情報を設定する.....           | 23 |
| 6.4.           | アプリケーションの構成ファイル及びフォルダについて設定する..... | 27 |
| 6.4.1.         | 1 つ又は複数のファイルをリストに追加する.....         | 29 |
| 6.4.2.         | 指定フォルダ内のファイルをリストに追加する.....         | 31 |
| 6.4.3.         | 削除するファイル/フォルダを指定する.....            | 33 |
| 6.4.4.         | 指定フォルダを作成する.....                   | 35 |
| 6.4.5.         | グラフィカルモードを使用する.....                | 36 |
| 6.5.           | スタートメニューなどのショートカットの設定を行う.....      | 39 |
| 6.6.           | インストールファイルを作成する.....               | 42 |
| 7.             | インストール時にコンポーネントを選択可能にする.....       | 43 |
| 7.1.           | 新規にコンポーネント定義ファイルを作成する.....         | 43 |
| 7.2.           | 既存のコンポーネント定義ファイルを使用する.....         | 46 |
| 7.3.           | コンポーネントについて設定する.....               | 48 |
| 8.             | 拡張オプションについて.....                   | 51 |
| 9.             | フォルダ定数について.....                    | 54 |
| フォルダ定数.....    | 54                                 |    |
| 定数の種類について..... | 54                                 |    |
| 定数一覧.....      | 55                                 |    |
| (1)            | %WindowsDirectory%.....            | 55 |
| (2)            | %SystemDirectory%.....             | 56 |
| (3)            | %ProgramFilesDir%.....             | 57 |
| (4)            | %SystemRootDir%.....               | 58 |
| (5)            | %DosCommandDir%.....               | 59 |
| (6)            | %DesktopDir%.....                  | 60 |
| (7)            | %ProgramDir%.....                  | 61 |
| (8)            | %StartMenuDir%.....                | 62 |
| (9)            | %SendToDir%.....                   | 63 |
| (10)           | %StartupDir%.....                  | 64 |
| (11)           | %FavoritesDir%.....                | 65 |
| (12)           | %CommonDesktopDir%.....            | 66 |
| (13)           | %CommonProgramDir%.....            | 67 |
| (14)           | %CommonStartMenuDir%.....          | 68 |
| (15)           | %CommonStartupDir%.....            | 69 |
| (16)           | %CommonFavoritesDir%.....          | 70 |
| (17)           | %QuickLaunchDir%.....              | 71 |
| (18)           | %AppDataDir%.....                  | 72 |
| (19)           | %MyDocumentsDir%.....              | 73 |
| (20)           | %TempDir%.....                     | 74 |

|      |                         |    |
|------|-------------------------|----|
| (21) | %AbsoluteDir%           | 75 |
| (22) | %SearchFileDir%         | 76 |
| (23) | %CdromDriveDir%         | 77 |
| (24) | %SearchFileDirEx%       | 78 |
| (25) | %Registry%              | 79 |
| (26) | %RegistryDir%           | 80 |
| (27) | %RegistryPath%          | 81 |
| (28) | %RegistryFileName%      | 82 |
| (29) | %RegistryDirEx%         | 83 |
| (30) | %RegistryPathEx%        | 84 |
| (31) | %IniFile%               | 85 |
| (32) | %IniFileDir%            | 86 |
| (33) | %IniFilePath%           | 87 |
| (34) | %IniFileFileName%       | 88 |
| (35) | %IniFileDirEx%          | 89 |
| (36) | %IniFilePathEx%         | 90 |
| (37) | %RegistryValueChange%   | 91 |
| (38) | %IniFileValueChange%    | 92 |
| (39) | %InstallDir%            | 93 |
| (40) | %InstallDrive%          | 93 |
| (41) | %InstallerDir%          | 94 |
| (42) | %DateTime%              | 94 |
| (43) | %Date%                  | 94 |
| (44) | %Time%                  | 95 |
| (45) | %UserName%              | 95 |
| (46) | %LoginName%             | 95 |
| (47) | %UnInstallInfoFileName% | 96 |
| (48) | %InstallInfoFileName%   | 96 |
| (49) | %UnInstallerFileName%   | 96 |

## 1. はじめに

簡単インストーラは、付属のエディタから各アプリケーションをインストールするのに必要な設定を行うだけでインストーラを作成することが出来ます。

### 簡単インストーラの構成

|     |  |
|-----|--|
| (1) | 簡単インストーラ エディタ<br>インストーラの設定およびインストーラの作成を行うためのエディタです。<br>インストーラがサポートしている機能全てに対して GUI を用いて簡単に設定することが可能です。 |
| (2) | インストールモジュール<br>実際にインストーラとして機能するモジュールです。初期状態では「モダンスタイル」を添付しており複数の言語をサポートしています。                          |

## 2. マニュアルの読み方

### 2.1. マニュアルの表記規則

このマニュアルは、次の表記規則に従って記述されています。

|               |   |
|---------------|---|
| [プロジェクト]-[開く] | メニュー、ダイアログボックスなど画面に表示される文字列は[ ]で囲んで表記します。<br>また、複数段のメニューについてはハイフン(-)でつないで表記します。 |
| 「Enter」キー     | キーボード上のキーの名前は<>で囲んで表記します。   |
| 「CTRL+F1」キー   | キー間のプラス記号(+)は CTRL キーを押しながら F1 キーを押すことを意味します。                                   |

また、本マニュアルでは、Windows Vista を元に説明します。

## 3. サポートについて

### 【連絡先】

簡単インストーラのサポートについては、下記で行います。

E-mail : [nobukichi@mua.biglobe.ne.jp](mailto:nobukichi@mua.biglobe.ne.jp)

Web : <http://www5a.biglobe.ne.jp/~nobukich/support/>

電話や FAX でのサポートは受け付けておりません。

### 【最新版の取得について】

簡単インストーラの最新版は、下記のサイトより取得することが出来ます。

Web : <http://www5a.biglobe.ne.jp/~nobukich/einstall/>

## 4. 簡単インストーラのセットアップ

### 4.1. セットアップ前に確認しておくこと

簡単インストーラをインストールするコンピュータの必要条件は下記の通りです。

#### 【対応 OS】

##### インストーラ作成環境

- Windows 2000 Professional Service Pack4
- Windows XP
- Windows Vista
- Windows Server 2003
- Windows Server 2008
- Windows 7

##### インストーラ実行環境

- Windows 95
- Windows 98
- Windows 98SE
- Windows Me
- Windows 2000 Professional
- Windows XP
- Windows Vista
- Windows Server 2003
- Windows Server 2008
- Windows 7

※インストーラ作成環境は、日本語のみをサポートしています。

#### 【ハードディスク】

必要空き容量： 2MB

※インストーラ作成時は作成しようとしているアプリケーションの全ファイルサイズの合計 x 2 以上必要です。

#### 【必要 DLL】

自己解凍形式のインストーラもしくはインストールに必要な構成ファイルを圧縮する場合それぞれ下記のファイルが必要です。

| 作成形式       | 必要 DLL          |
|------------|-----------------|
| LHA 形式     | UNLHA32.DLL     |
| LHA 自己解凍形式 | (簡単インストーラに標準添付) |
| CAB 形式     | CAB32.DLL       |
| CAB 自己解凍形式 |                 |

#### 【付属している UNLHA32.DLL について】

簡単インストーラに添付されている UNLHA32.DLL の著作権は Micco 氏が所有しています。

最新版は下記のサイトより入手することが出来ます。

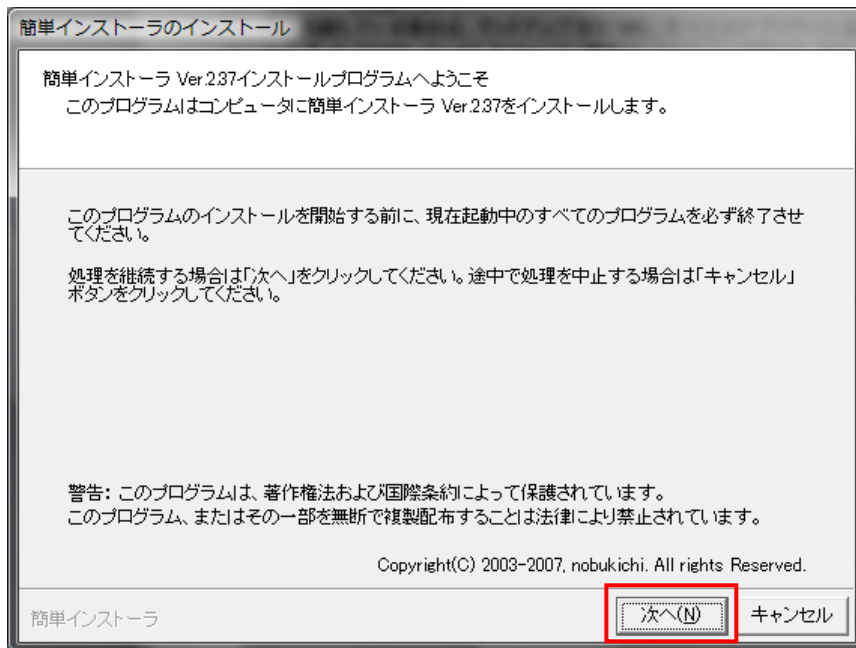
Micco's HomePage

<http://www2.nsknet.or.jp/~micco/micindex.html>

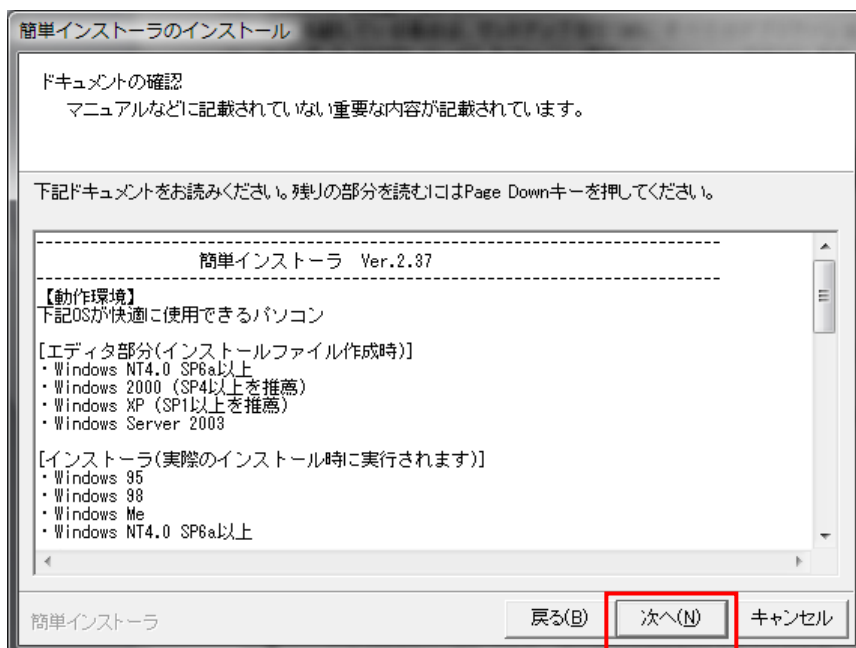
## 4.2. セットアップ

簡単インストーラを使用するためには、最初にお使いのパソコンにインストールする必要があります。  
ここではインストール手順について解説します。

- (1) Windows を起動します。  
既に起動している場合は、セットアップを行う前に全てのアプリケーションを終了させます。
- (2) Web サイトよりダウンロードしたファイル(通常は ei2xxx.exe)をエクスプローラなどからダブルクリックします。  
インストーラが起動します。
- (3) <次へ>ボタンをクリックします。

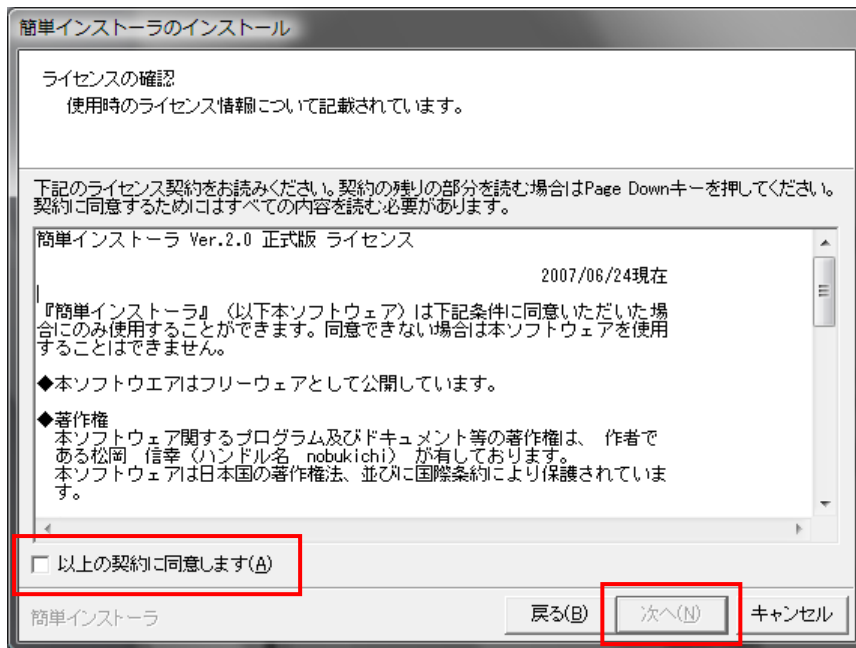


- (4) マニュアルに記載されていない最新の情報が表示されます。内容を確認し<次へ>ボタンをクリックします。





- (5) ライセンス契約に同意する場合は、[以上の契約に同意します]をチェックし、〈次へ〉ボタンをクリックします。チェックするためにはライセンス契約内容を全て読む必要が有ります。

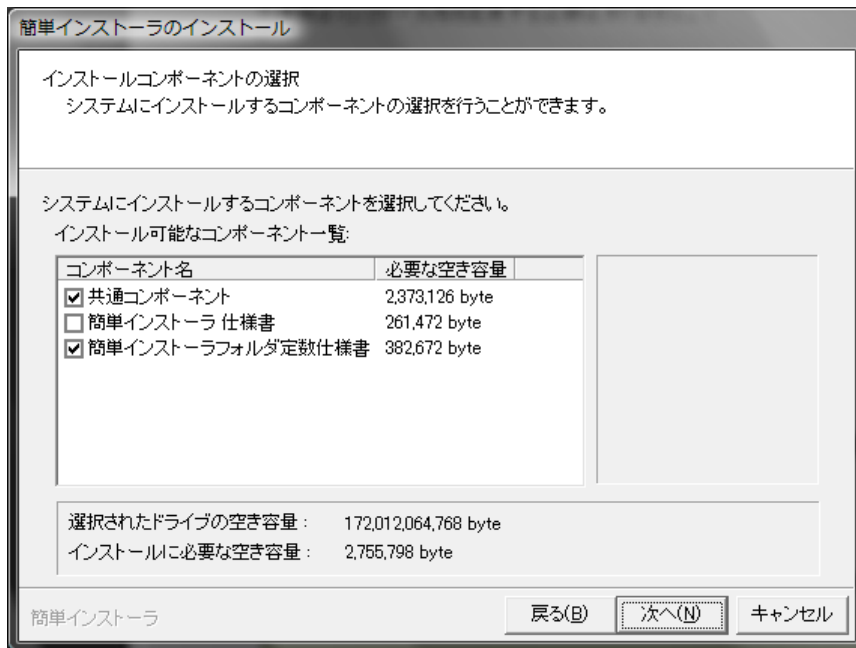


- (6) インストール先のフォルダを指定し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

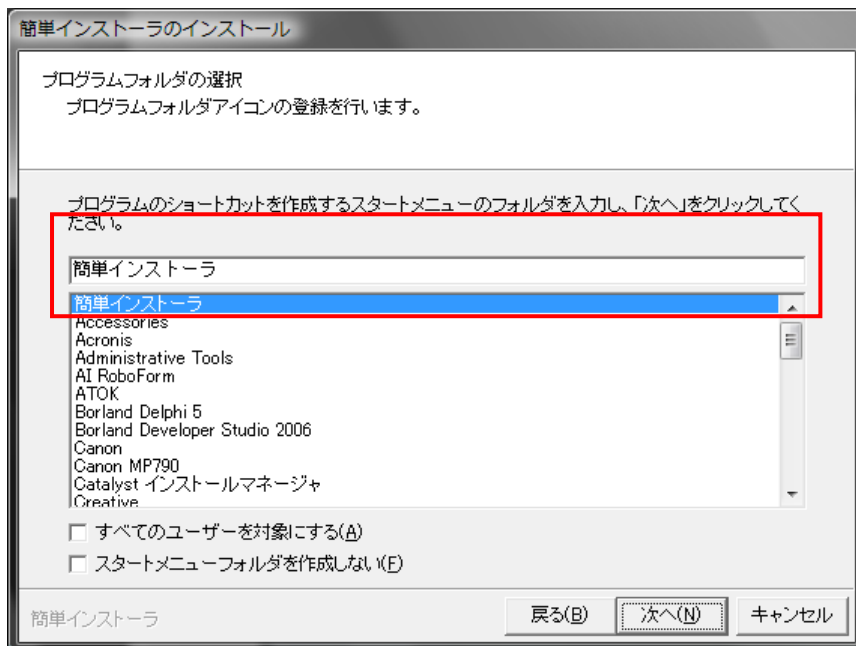


※通常はインストール先を変更する必要は有りません。  
変更する場合は〈参照〉ボタンをクリックしインストール先を選択するかテキストボックス内に直接入力してください。

- (7) インストール対象のコンポーネントを選択する画面が表示されますので必要な項目を選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

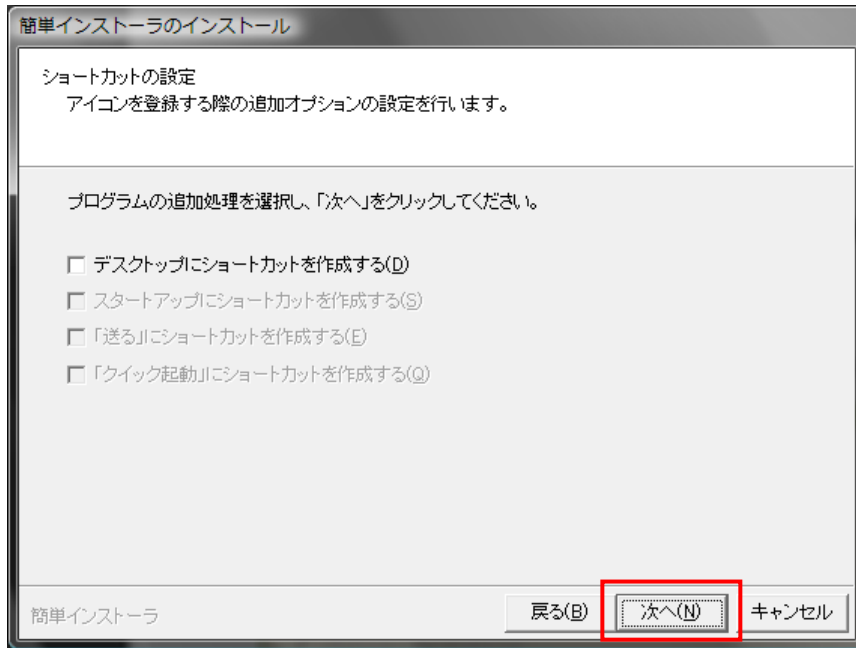


- (8) ショートカットを登録するためのグループを指定し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

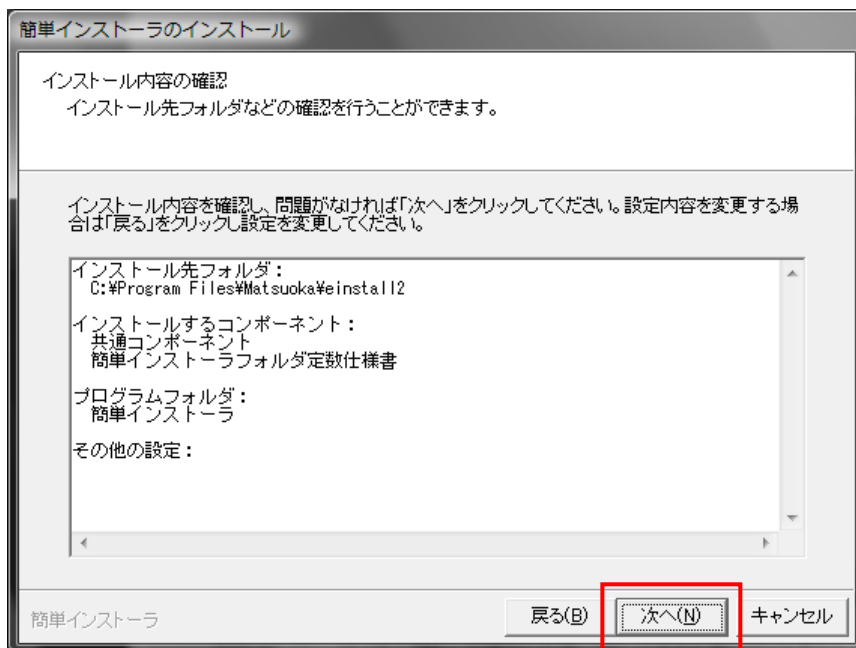


※通常は登録先のグループを変更する必要は有りません。

(9) ショートカット作成時の追加オプションを指定し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

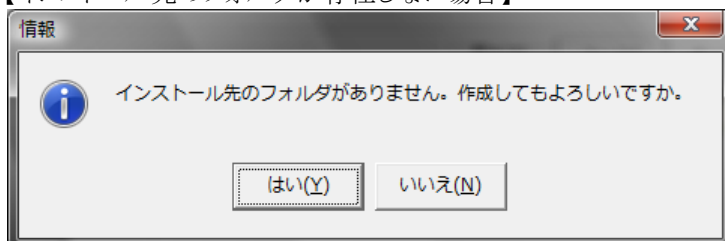


(10) インストール内容を確認し問題なければ、〈次へ〉ボタンをクリックします。

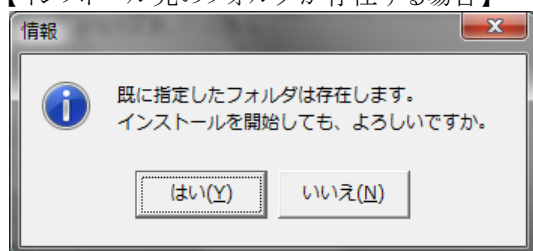


(11) インストールを行うシステムによりそれぞれ下記のメッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、〈はい〉ボタンをクリックします。

【インストール先のフォルダが存在しない場合】

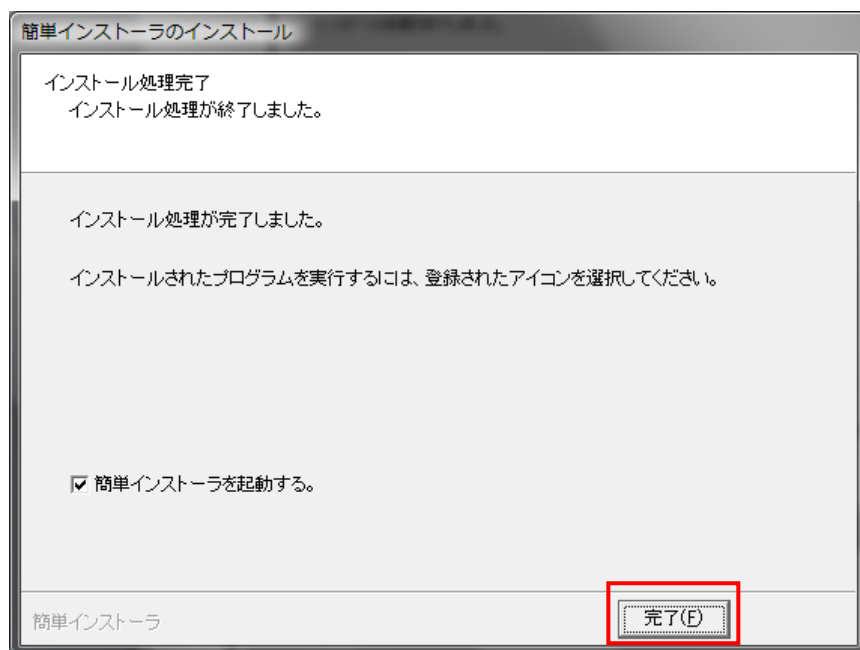


【インストール先のフォルダが存在する場合】



インストール先のフォルダを変更する場合は、<いいえ>を選択し[インストール先の設定]画面まで戻りインストール先のフォルダを変更してください。

(12) <完了>ボタンをクリックします。



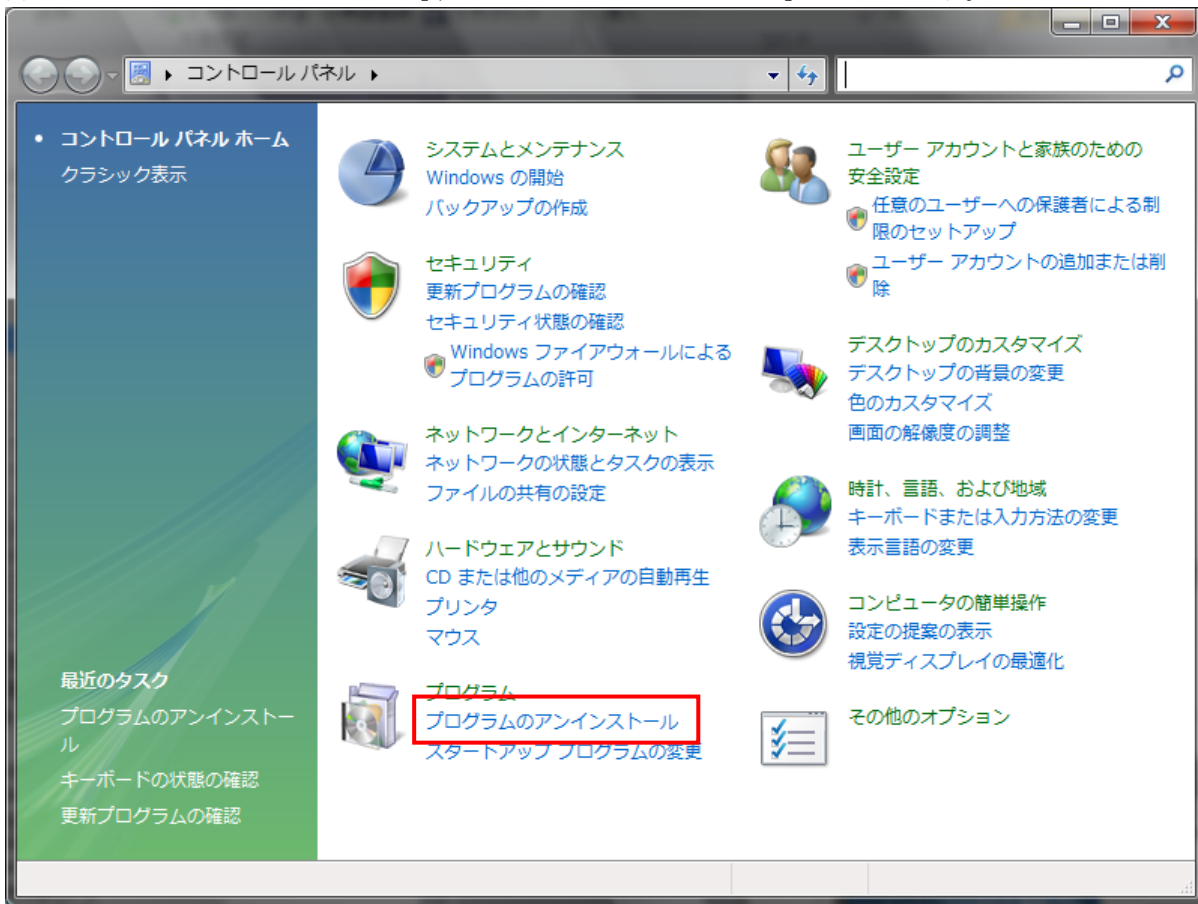
上記で、簡単インストーラのインストールは終了です。

## 5. 簡単インストーラをアンインストールする

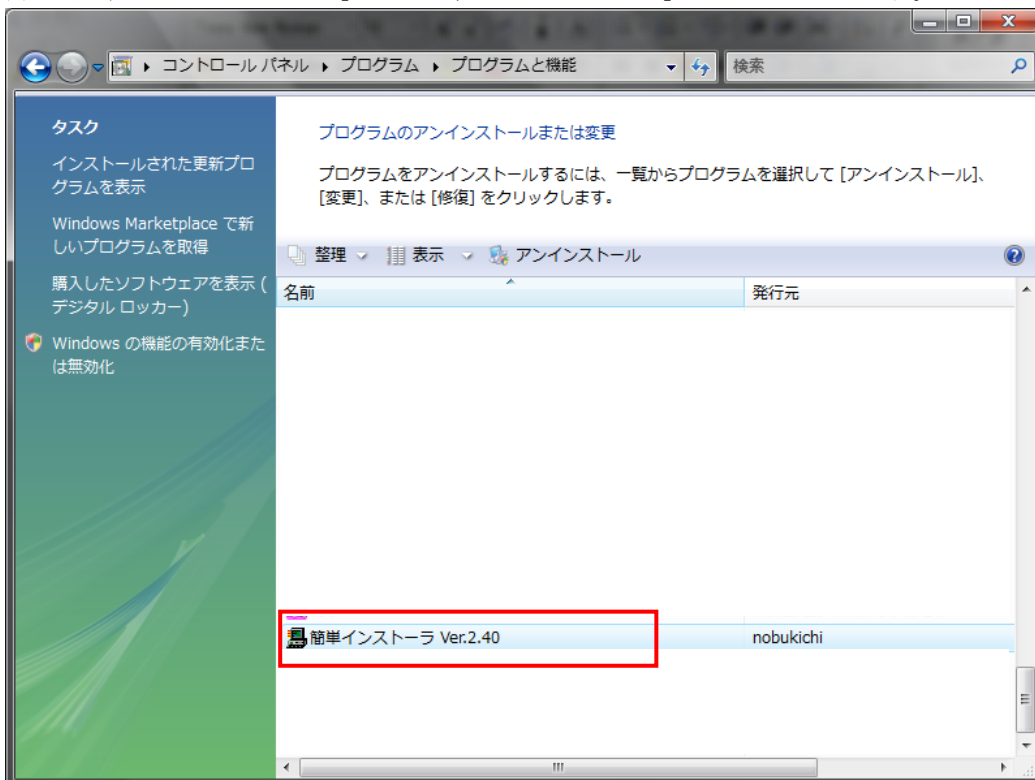
簡単インストーラが不要になり、システムから削除する場合の方法について解説します。

簡単インストーラをアップデートする場合は旧バージョンをアンインストールする必要は有りません。

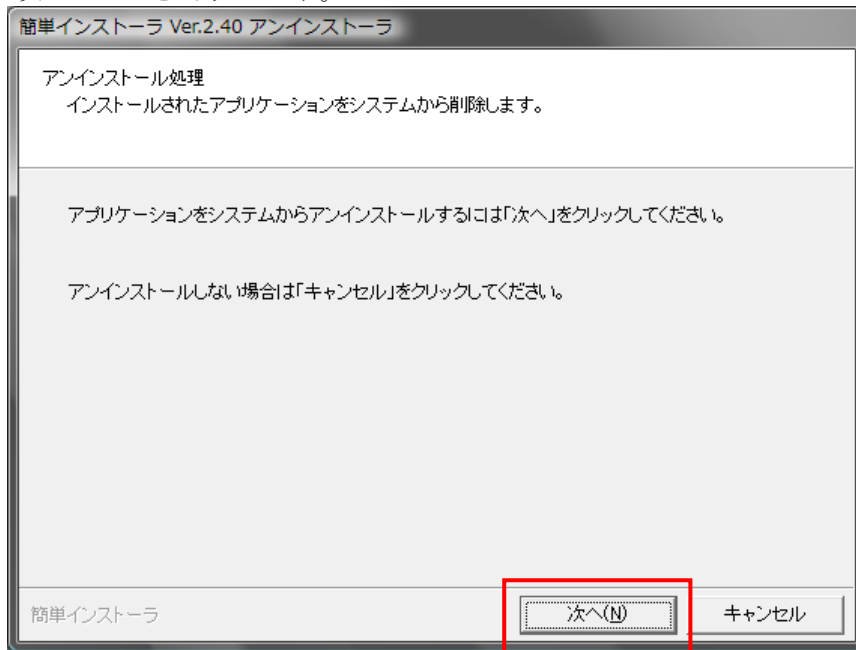
(1) コントロールパネルの「プログラム」、「プログラムのアンインストール」をクリックします。



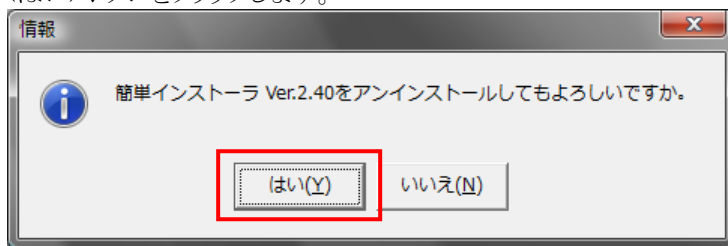
(2) 「簡単インストーラ Ver2.x」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。



- (3) <次へ>ボタンをクリックします。

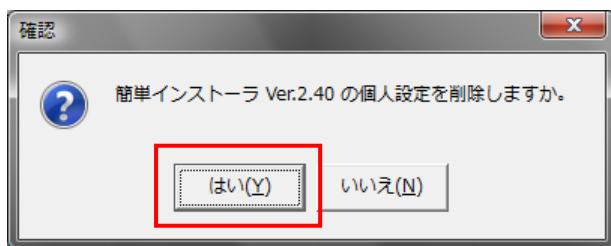


- (4) <はい>ボタンをクリックします。



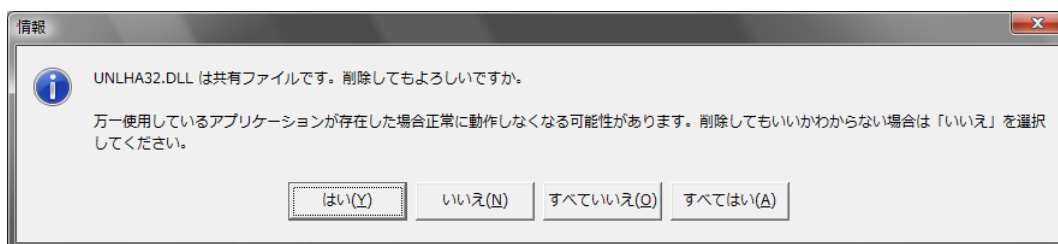
※アンインストールをキャンセルしたい場合は、<いいえ>ボタンをクリックしてください。

- (5) 簡単インストーラの設定を削除するかどうか確認メッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリックします。

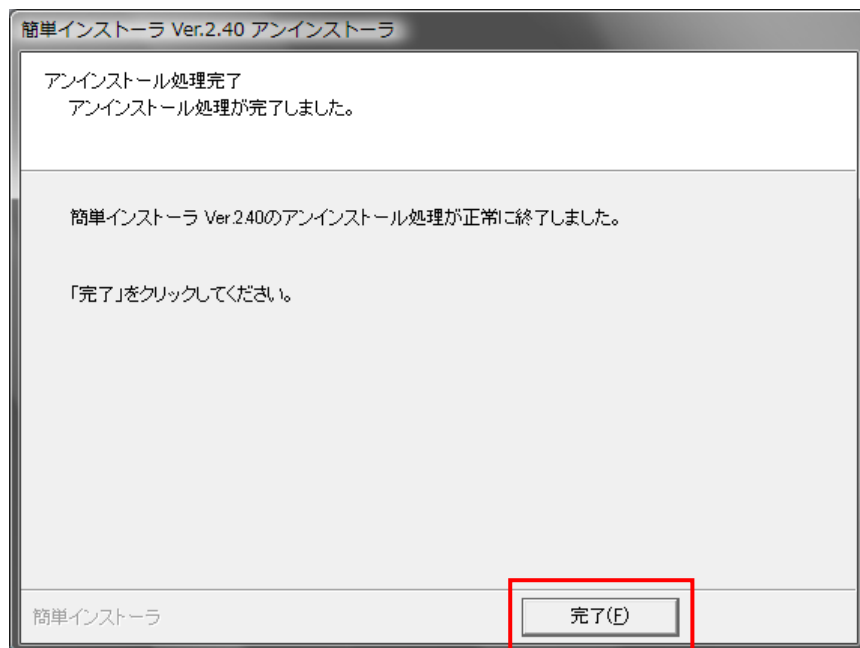


※簡単インストーラをバージョンアップする場合などで今後も継続して使用する場合は<いいえ>ボタンをクリックしてください。

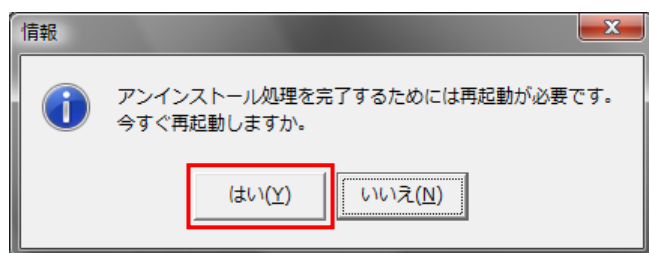
※共有ファイルを削除してもいいかを確認するメッセージが表示された場合は、「いいえ」を選択してください。



(6) <完了>ボタンをクリックします。



※再起動を確認するメッセージが表示された場合は、起動している全てのアプリケーションを終了し<はい>ボタンをクリックします。



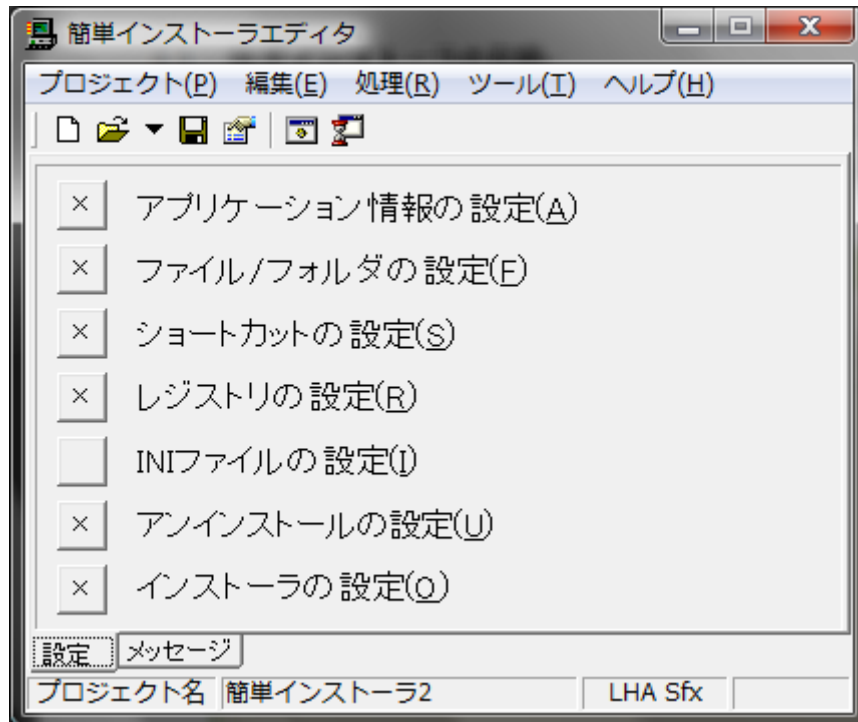
## 6. 簡単インストーラを使用する

### 6.1. 簡単インストーラの起動

簡単インストーラの起動方法について解説します。

ここでは、インストール時にスタートメニューに登録されたショートカットアイコンから起動する方法のみ記載します。

- (1) Windows の<スタート>ボタンをクリックします。
- (2) [簡単インストーラ]グループの[簡単インストーラ]を選択します。
- (3) 簡単インストーラが起動すると、下記の画面が表示されます。



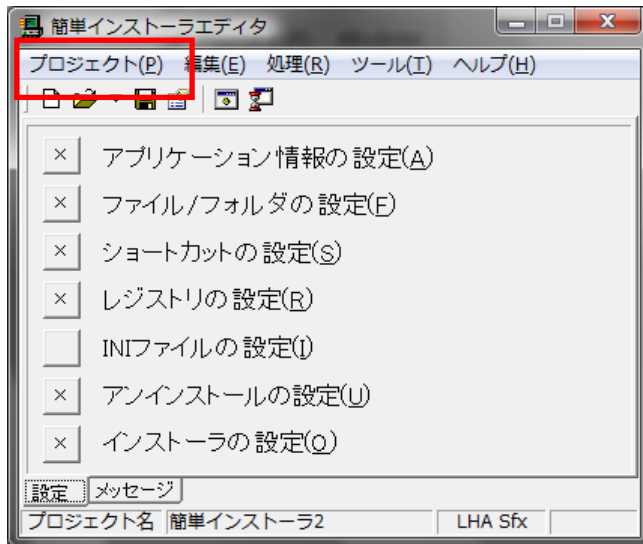


## 6.2. 新規にプロジェクトを作成する

簡単インストーラではインストールを行うアプリケーションをプロジェクトとして管理しており、アプリケーションごとにプロジェクトファイルを作成する必要があるがあります。

ここでは、新規にプロジェクトファイルを作成する方法について解説します。

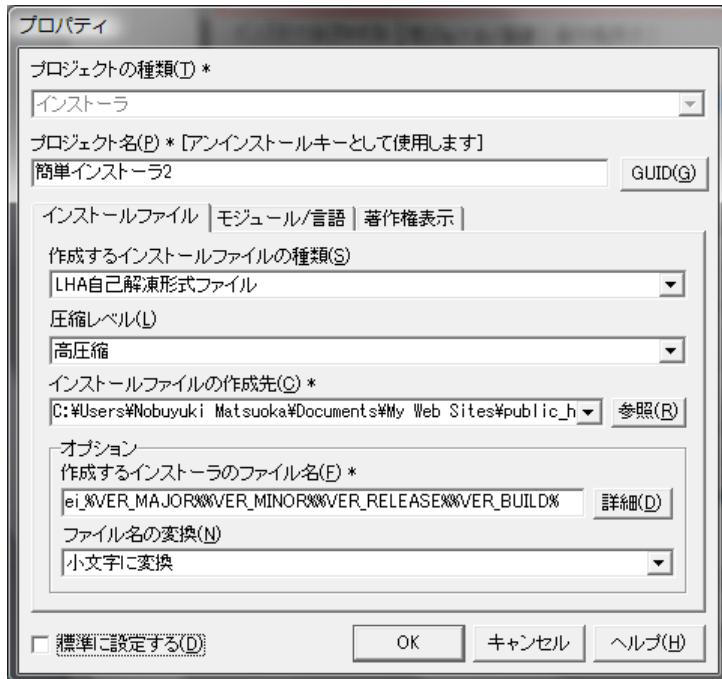
- (1) メイン画面のメニュー「プロジェクト」をクリックします。



- (2) [新規作成]を選択します。



(3) [プロパティ]ダイアログが表示されるので、プロジェクトに関する設定を指定します。



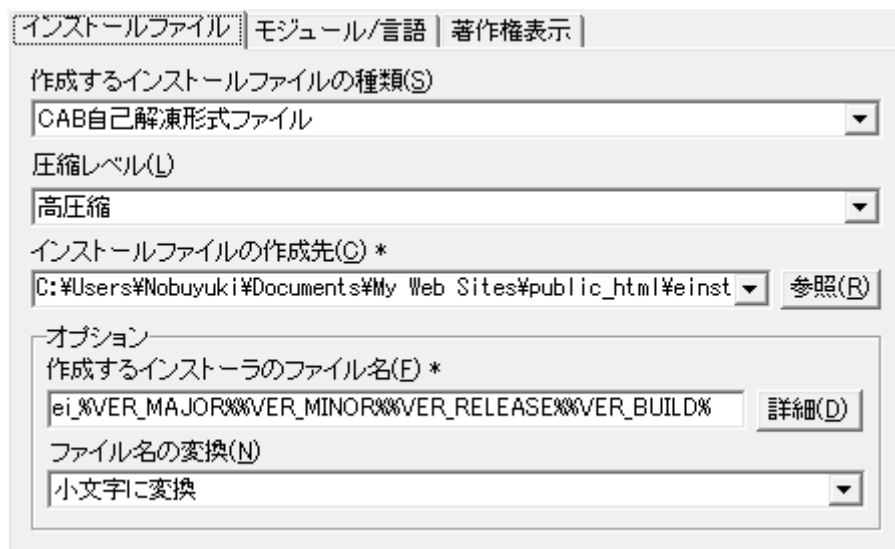
#### ■プロジェクトの種類

プロジェクトファイルの種類を指定します。  
現在、「インストーラ」のみ対応しています。

#### ■プロジェクト名

作成するインストーラのプロジェクト名を指定します。  
ここで指定したプロジェクト名がアンインストーラをシステムに登録する際のキーとして使用されます。  
複数のインストーラを作成する場合は重複しないように気をつける必要があります。  
[GUID]ボタンをクリックすると一意な ID を作成することが出来ます。

(4) 実際に作成するインストールファイルに関する指定を行います。



## ■作成するインストールファイルの種類

作成するインストーラの種類を指定します。

### [インストールファイル作成時に指定する]

インストールファイルの作成時に、ファイルの種類や作成場所を指定するためのダイアログが表示されます。指定した内容に応じて該当する項目を参照ください。

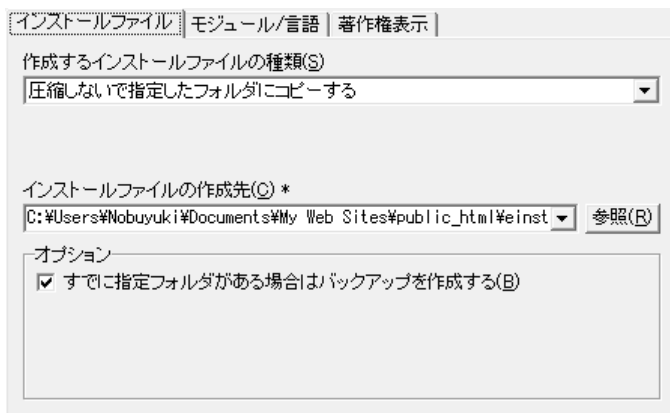
### [圧縮しないで指定したフォルダにコピーする]

インストーラを圧縮せずに指定フォルダに格納したい場合に使用します。

尚、既に指定したフォルダが存在する場合、インストールファイルの作成処理を行うと指定フォルダ内のファイルおよびフォルダは全て削除されます。重要なファイルが格納されている場合は待避した上で作業を行ってください。



通常、インターネットのサイトで配布しやすいように1つのファイルにまとめ配布しやすいように圧縮しますが、構成するファイルの容量が全体的に大きい場合圧縮すると実際のインストール時解凍処理に時間がかかるなどユーザーやシステムにとって負担がかかるようになります。この場合、指定したフォルダにファイルをコピーし、作成されたファイルをDVDなどで配布を行います。



## ■インストールファイルの作成先

インストーラ及びアプリケーションの構成ファイルを格納するフォルダを指定します。

## ■オプション

[すでに指定フォルダが有る場合はバックアップを作成する]

このオプションが有効な場合、インストールファイルを作成する際に、インストールファイルの作成先として指定されたフォルダが既に存在する時に、現在の日時を元にプロジェクトファイルの存在するフォルダにバックアップファイルを作成します。

フォルダ指定の間違いなどから重要なデータが削除されることを防ぐためにも常に有効な状態にしておくことをお勧めします。

[LHA 自己解凍形式ファイル、CAB 自己解凍形式ファイル、LHA 圧縮ファイル、CAB 圧縮ファイル]

全ての構成ファイルを 1 つのファイルに圧縮することで全体的なファイルサイズを小さくすることが出来、インターネットなどで配布するのに最適です。

自己解凍形式の場合インストール時に解凍するためのツールは必要なくエクスプローラなどでダブルクリックするだけでインストーラを起動することが出来ます。自己解凍形式でない場合は、ユーザーが解凍ツール等を使用しファイルを解凍し解凍後に出来た install.exe を実行する必要があります。

実行形式(EXE)のファイルが使用できない環境以外では自己解凍形式ファイルでインストーラを作成することをお勧めします。

※一般的に CAB 形式は LHA 形式より圧縮率が高くファイルサイズがより小さくなります。



### ■圧縮レベル

圧縮レベルを指定することが出来ます。高圧縮にすると作成されるインストーラファイルのサイズが一番小さくなります。

### ■インストールファイルの作成先

インストールファイルを作成する場所を指定します。

### ■作成するインストールファイル名

インストーラのファイル名を指定します。

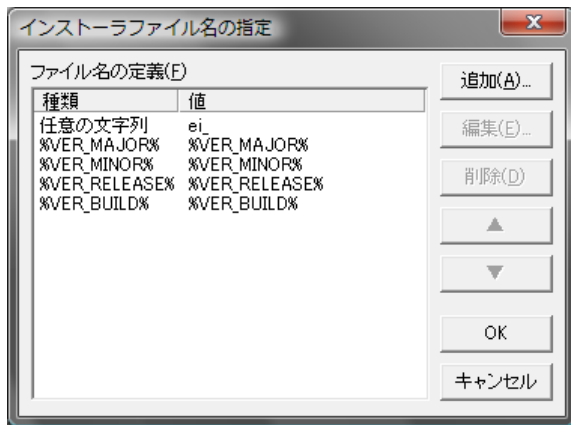
ファイル名はフォルダ部分を含めずに指定します。

作成するインストーラの種類に応じて自動的に適切な拡張子を付加しますのでここでは拡張子を指定する必要はありません。

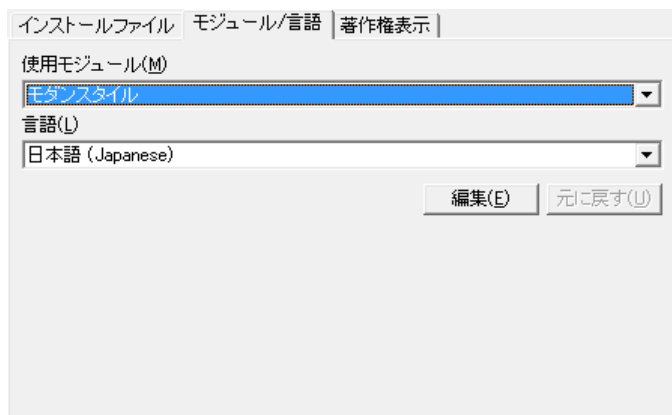
ファイル名には下記の変数を使用することが出来ます。

|               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| %VER_MAJOR%   | [アプリケーションの設定]の[メジャーバージョン]を示します。   |
| %VER_MINOR%   | [アプリケーションの設定]の[マイナーバージョン]を示します。   |
| %VER_RELEASE% | [アプリケーションの設定]の[リリースバージョン]を示します。   |
| %VER_BUILD%   | [アプリケーションの設定]の[ビルドバージョン]を示します。    |
| %VER_OTHER%   | [アプリケーションの設定]の[その他バージョン]を示します。    |
| %CDATETIME%   | インストーラ作成時の日時を示します。                |
| %CDATE%       | インストーラ作成時の日付を示します。                |
| %CTIME%       | インストーラ作成時の時間を示します。                |
| 任意の文字列        | 上記以外の変数を使用した場合に自動的に任意の文字列が選択されます。 |

<詳細>ボタンをクリックすると、上記変数などを含め画面で設定することが出来ます。



(5) インストーラの言語を選択します。



#### ■使用モジュール

現状、「モダンスタイル」のみ選択可能です。

#### ■言語

下記の言語から対象の OS に適した言語を選択します。

- ・日本語
- ・英語
- ・イタリア語(機械翻訳版)
- ・ドイツ語(機械翻訳版)

#### ■編集

インストーラで表示されるメッセージを変更する際に使用します。

#### ■元に戻す

上記「編集」にて編集した内容を元に戻す場合に使用します。

ただし、プロジェクト内に個別に保存した場合のみ有効です。プロジェクトではなく元の言語ファイルに上書きしてしまった場合はこのボタンは無効です。この場合、標準の言語ファイルに戻す場合簡単インストーラの再インストールが必要です。

※[編集]ボタンと[元に戻す]ボタンは選択言語に該当するメッセージを変更するためのものですが、「新規作成」時は使用することは出来ません。

(6) インストーラを配布する著作権者に関する情報を指定します。著作権者名以外は空欄でもかまいません。

インストールファイル | モジュール/言語 **著作権表示**

著作権者名(P) \*  
nobukichi

企業名(C)  
nobukichi's HomePage

配布元のホームページ(H)  
http://www5a.biglobe.ne.jp/~nobukich/

サポート情報(URL)(S)  
http://www5a.biglobe.ne.jp/~nobukich/support/

サポート情報(Tel)(T)

製品更新(U)(最新版の公開先など)  
http://www5a.biglobe.ne.jp/~nobukich/einstall/

■著作権者名

アプリケーション(もしくはデータ)の著作権者名を入力します。

■企業名

製品をサポートする企業名を指定します。

■配布元のホームページ

製品を公開している URL を指定します。

■サポート情報(URL)

製品のサポート先の URL を指定します。

■サポート情報(TEL)

製品のサポート先の電話番号を指定します。

■製品更新

製品の最新情報が公開されている URL を指定します。

(7) <OK>ボタンをクリックし、画面を閉じます。

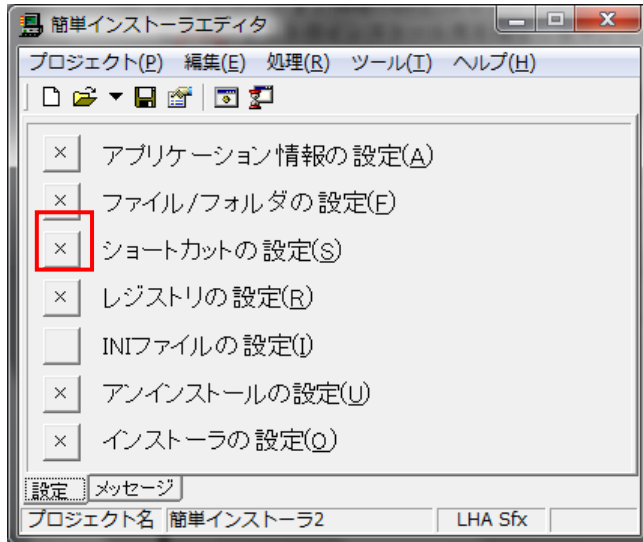
以上で、新規プロジェクトの作成は完了です。

### 6.3. アプリケーションに関する情報を設定する

新規にプロジェクトを作成したら、インストールを行うアプリケーションについての情報(アプリケーション名やバージョンなど)を設定しましょう。

ここでは、アプリケーションに関する情報を設定する画面について解説します。

- (1) メイン画面の[アプリケーション情報の設定]の左側に有るボタンをクリックします。



- (2) [アプリケーション情報の設定]ダイアログが表示されますので、アプリケーションに関する名称や著作権表示などを指定します。

#### [アプリケーション]タブ



#### ■インストーラタイトル

インストーラのタイトルを指定します。インストーラウインドウのタイトル部分で使用されます。

#### ■アプリケーション名

アプリケーション名を指定します。

ここで指定されたアプリケーション名が、インストール中に表示される各メッセージで使用されます。

また、コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]ダイアログで表示される項目名として使用されます。

### ■メインファイル名

アプリケーションのメインファイルを指定します。

メインファイル名は「ファイル/フォルダの設定」よりアプリケーションを構成するファイルを設定した後にのみ指定することが出来ます。

※メインファイルを指定すると、下記の機能を使用することが出来ます。

#### [インストーラの設定]ダイアログ:「インストールオプション」の「旧バージョンの状態をチェックする」

インストール時に既存のファイルのバージョンをチェックし、古いバージョンがインストールされている場合のみインストールを行えるようにします。

### ■著作権表示

著作権表示を指定します。インストーラの「ようこそ」画面で使用されます。

- (3) 次に、アプリケーションの初期のインストール先フォルダを指定します。

#### [インストールフォルダ]タブ



### ■全ての環境で同一の初期インストール先を使用する

全ての環境(Windows XP や Windows Vista 等)にて、同一のインストール先を使用する場合このオプションを有効にします。環境ごとにインストール先のフォルダを変更したい場合は、このオプションを無効にしてください。

### ■インストール先フォルダの指定

インストーラが起動した際に、初期状態として表示されるインストール先のフォルダを指定します。ここで指定したフォルダがインストール時に存在しない場合自動的に作成されます。

フォルダ定数については、巻末の「フォルダ定数について」を参照ください。

### ■旧バージョンが検索できなかった場合のインストール先の指定

下記のフォルダ定数が選択されている場合に、インストール先フォルダで指定した条件のフォルダが検索できなかった場合の初期状態のインストール先のフォルダを指定します。

- %SearchFileDir%
- %SearchFileDirEx%
- %RegistryDir%



- %Registry%
- %IniFileDir%
- %IniFile%

#### ■インストール先フォルダオプション

[初期フォルダ変更時選択フォルダに対して<パラメータ>で指定した値を追加する]

インストール時、「参照」ボタンをクリックしフォルダを選択後に「インストール先フォルダの指定」の「パラメータ」で指定されている内容を付加します。

[フォルダ選択時の<パラメータ>付加をルートディレクトリ選択時のみに限定する]

インストール先フォルダ変更後のパラメータ付加を各ドライブのルートディレクトリを選択した場合に限定します。

- (4) 必要に応じて、アプリケーションのバージョン情報を設定します。バージョン情報の指定については必須ではありません。

[バージョン情報]タブ

| メジャー(M) | マイナー(N) | リリース(R) | ビルド(B) | その他(E) |
|---------|---------|---------|--------|--------|
| 2       | 40      | 0       | 3246   | 0      |

#### ■メジャー

アプリケーションのメジャーバージョンを指定します。

#### ■マイナー

アプリケーションのマイナーバージョンを指定します。

#### ■リリース

アプリケーションのリリースバージョンを指定します。

#### ■ビルド

アプリケーションのビルドバージョンを指定します。

#### ■その他

アプリケーションのその他のバージョンを指定します。

#### ■メインファイルから取得

[アプリケーション]タブの[メインファイル名]が指定されている場合、メインファイルからバージョン情報を取得することが出来ます。ファイルからのバージョン取得時、[メジャー]、[マイナー]、[リリース]、[ビルド]が取得対象です。

※「プログラムのアンインストール又は変更」での登録情報にバージョン情報が使用されます。

(5) 必要に応じてロゴファイルに関する設定を行います。

The screenshot shows a dialog box for configuring the logo. It has a title bar and a close button. The main content is organized into sections:

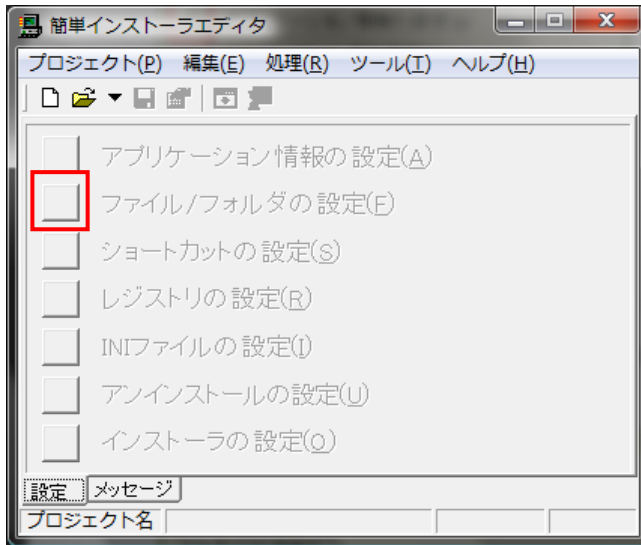
- ロゴを指定する(E)**  
This section contains a text input field for the file name, labeled "ファイル名(E)", and a "参照(B)" (Browse) button to the right.
- オプション | 位置・サイズの指定 |**  
This section contains three checkboxes:
  - ロゴサイズを表示領域にあわせて調整しない(S)
  - ロゴの背景色を透明にする(T)
  - ロゴ表示時に一部のメッセージを表示しない(H)
- プレビュー**  
This section contains a preview area with the text "これはサンプルです。" (This is a sample.) repeated three times.

以上で、アプリケーションに関する基本的な情報の入力は完了です。

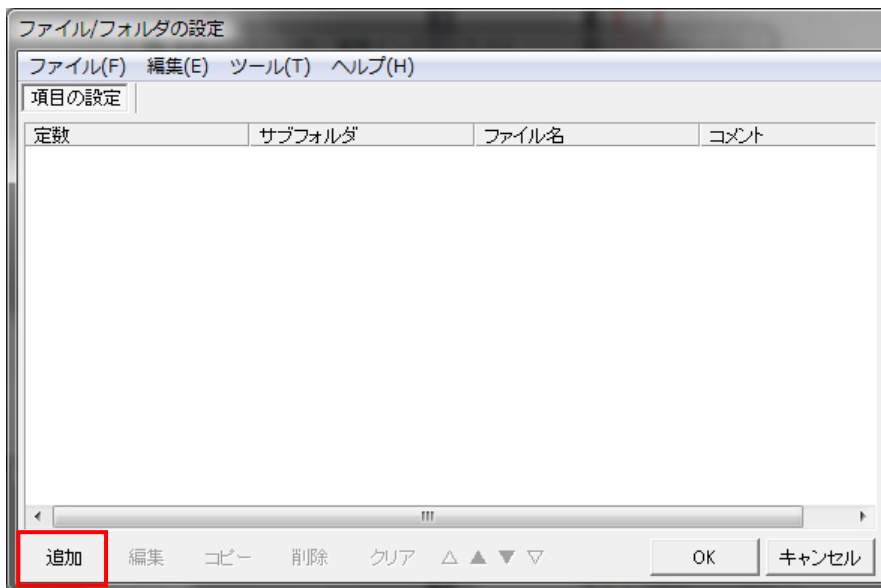
## 6.4. アプリケーションの構成ファイル及びフォルダについて設定する

ここでは、アプリケーションの構成ファイルを登録する手順について解説します。

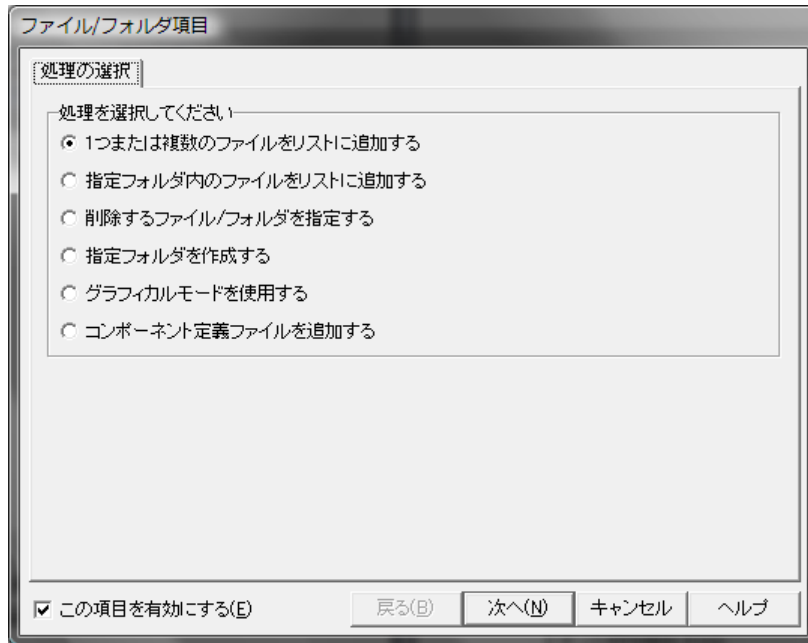
- (1) メイン画面のファイル/フォルダの設定の左側に有るボタンをクリックします。



- (2) [ファイル/フォルダの設定]ダイアログが表示されるので、<追加>ボタンをクリックします。



(3) [ファイル/フォルダ項目]ダイアログが表示されるので、目的に応じた項目を選択し<次へ>ボタンをクリックします。



#### ■1つ又は複数のファイルをリストに追加する

個別にファイルをリストに追加したい場合に使用します。フォルダ内に有る複数のファイルをまとめて追加したい場合は、後述する<指定フォルダ内のファイルをリストに追加する>を使用します。

#### ■指定フォルダ内のファイルをリストに追加する

指定したフォルダ内のファイルをリストに追加する場合に使用します。

ここではサブフォルダ内も含めてリストに追加するかどうかを指定できます。また、フォルダ内のフォルダおよびファイル構成をそのまま忠実に再現することも可能です。

#### ■削除するファイル/フォルダを指定する

インストール時に指定したフォルダ又はファイルを削除することが出来ます。

#### ■指定フォルダを作成する

インストール時に指定したフォルダを作成することが出来ます。

#### ■グラフィカルモードを使用する

上記の機能を兼ねそそえたもので実際のフォルダ構成がどのようになるかを確認しながら設定することが出来ます。ただし、項目ごとに拡張オプションは設定できませんので後で個別に設定する必要が有ります。

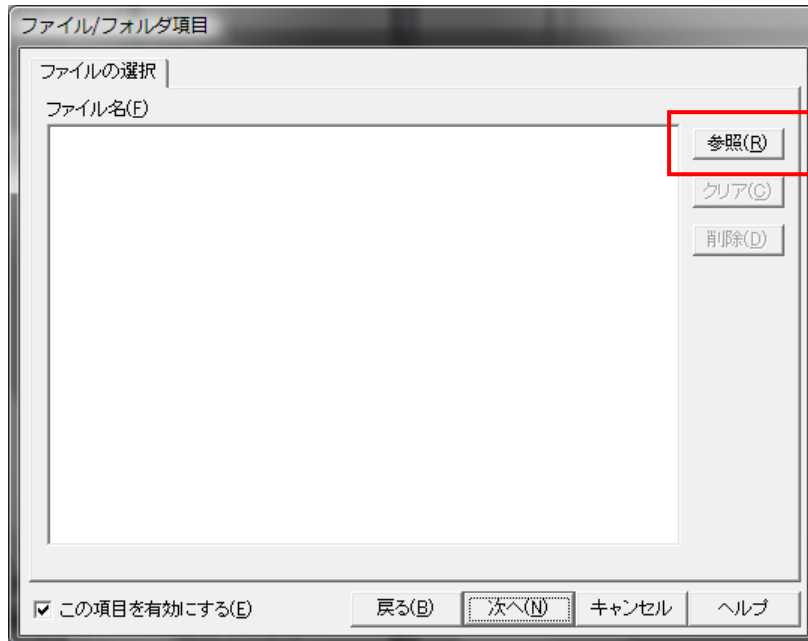
#### ■コンポーネント定義ファイルを追加する

インストール時に、必要なコンポーネントのみ選択してインストールできるようにする場合に使用します。

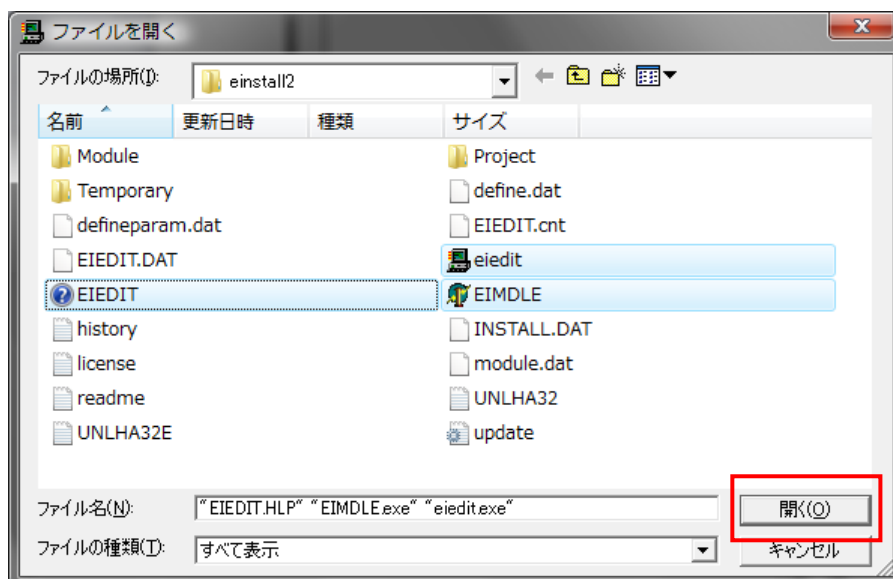
詳細については「インストール時にコンポーネントを選択可能にする」機能を参照してください。

### 6.4.1. 1つ又は複数のファイルをリストに追加する

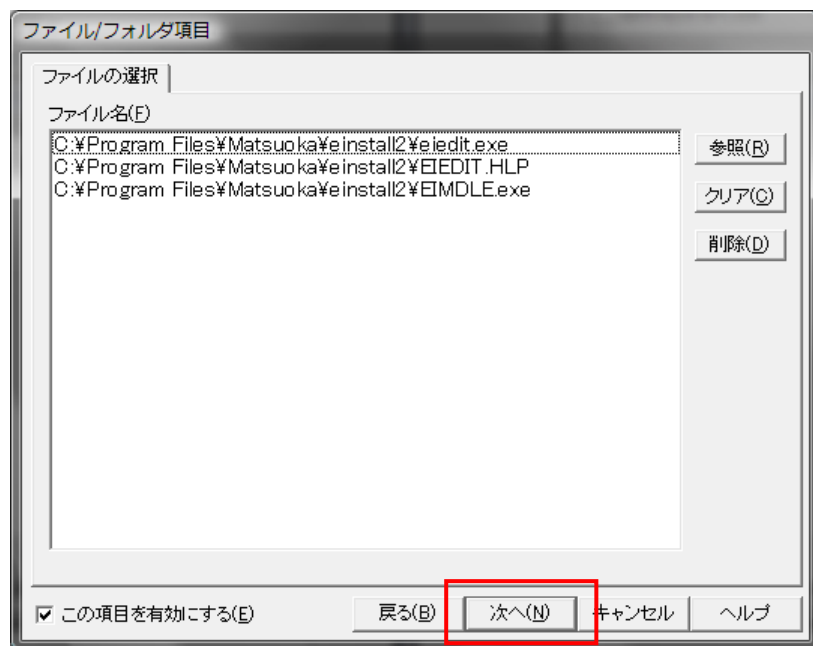
(1) リスト内に追加するファイルを指定する画面が表示されるので、〈参照〉ボタンをクリックします。



(2) 必要なファイルを選択します。CTRL キーを押下しながらファイルを選択すると複数のファイルを選択することができます。必要なファイルが選択できたら〈開く〉ボタンをクリックします。



- (3) 内容を確認し、〈次へ〉ボタンをクリックします。



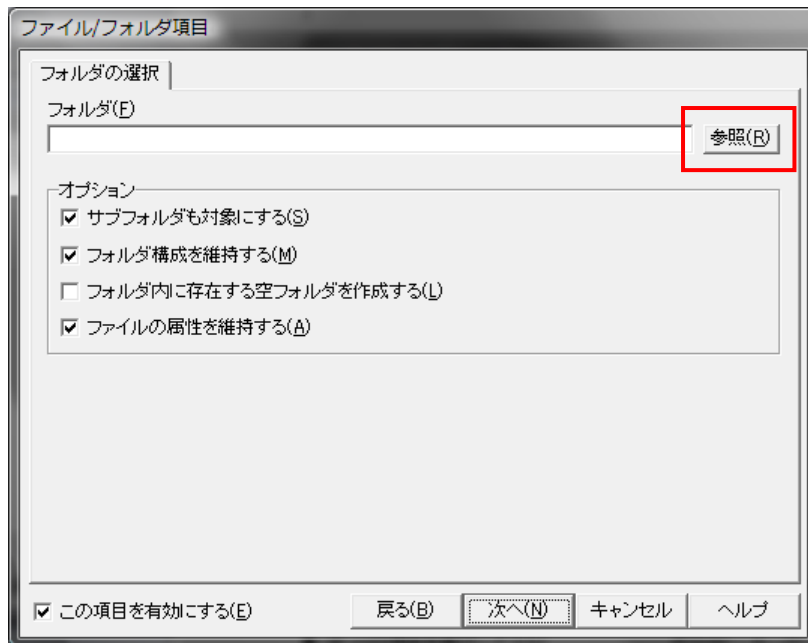
間違って登録した場合は〈クリア〉又は〈削除〉ボタンをクリックし不要な項目を削除した上で、再度操作を行ってください。

- (4) 各ファイルに対するオプションを指定するための画面が表示されます。オプションの詳細については「拡張オプションについて」を参照してください。
- (5) 〈完了〉ボタンをクリックします。

以上で、アプリケーションの構成ファイルに関する設定は終了です。

#### 6.4.2. 指定フォルダ内のファイルをリストに追加する

(1) <参照>ボタンをクリックし、アプリケーションの構成ファイルが格納されているフォルダを選択します。



##### ■サブフォルダも対象にする

指定されたフォルダ内に存在するサブフォルダ内のファイルもリストに追加することができます。

##### ■フォルダ構成を維持する

指定されたフォルダ内のサブフォルダなどのフォルダ構成を維持したままリストにファイルを追加することができます。このオプションが無効な場合、全てのファイルは同一のフォルダに格納されます。

##### ■フォルダ内の存在する空フォルダを作成する

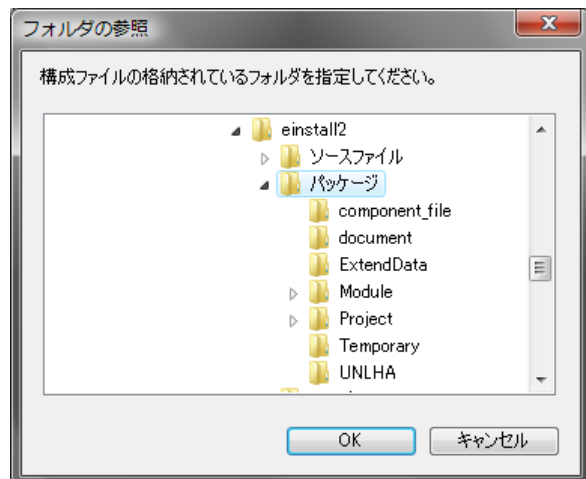
指定されたフォルダ内に空フォルダが存在する場合、このフォルダを作成することができます。ただし、このオプションを選択するためにはフォルダ構成を維持するオプションを有効にしている必要が有ります。

##### ■ファイルの属性を維持する

フォルダ内に存在するファイル・フォルダの属性を維持することができます。

※このオプションが選択されていない場合、全てのファイル属性はアーカイブ属性となります。

- (2) <参照>ボタンをクリックし、アプリケーションの構成ファイルが格納されているフォルダを選択します。



- (3) <次へ>ボタンをクリックします。
- (4) 各ファイルに対するオプションを指定するための画面が表示されます。オプションの詳細については「拡張オプションについて」を参照してください。
- (5) <完了>ボタンをクリックします。

以上で、アプリケーションの構成ファイルに関する設定は終了です。



### 6.4.3. 削除するファイル/フォルダを指定する

(1) 削除するファイル又はフォルダに関する設定を指定します。



#### ■削除対象の指定

[ファイル]

ファイルを削除する場合に選択します。

[フォルダ]

フォルダを削除する場合に選択します。

この設定では指定フォルダにファイルやサブフォルダが存在する場合は削除しません。

[フォルダ(サブフォルダ含む)]

フォルダを削除する場合に選択します。

この設定では指定フォルダにファイルが存在し空でない場合でもサブフォルダを含めて全て削除します。この際には削除してもいいかを確認するメッセージが表示されます。

#### ■フォルダ定数

フォルダ定数を指定します。

フォルダ定数については、巻末の「フォルダ定数について」を参照ください。

#### ■パラメータ

フォルダ定数に対するパラメータを指定します。

フォルダ定数及びパラメータについては、巻末の「フォルダ定数について」を参照ください。

#### ■ファイル名

ファイル名を指定します。

削除対象にファイルが選択されている場合のみ表示されます。

(2) <次へ>ボタンをクリックします。

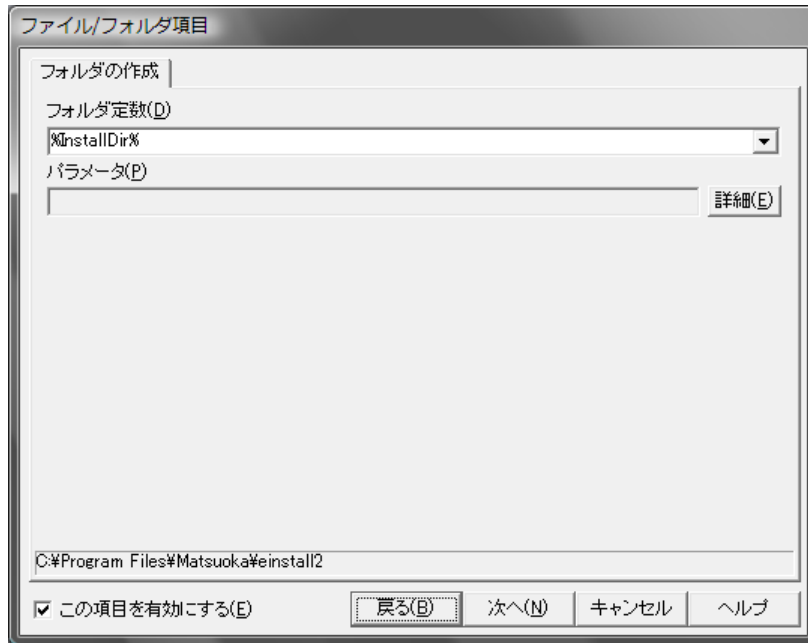
(3) オプションを指定するための画面が表示されます。オプションの詳細については「拡張オプションについて」を参照してください。

(4) <完了>ボタンをクリックします。

以上で、アプリケーションの構成ファイルに関する設定は終了です。

#### 6.4.4. 指定フォルダを作成する

(1) 作成するフォルダに関する設定を指定します。



##### ■フォルダ定数

フォルダ定数を指定します。

フォルダ定数については、巻末の「フォルダ定数について」を参照ください。

##### ■パラメータ

フォルダ定数に対するパラメータを指定します。

フォルダ定数及びパラメータについては、巻末の「フォルダ定数について」を参照ください。

(2) <次へ>ボタンをクリックします。

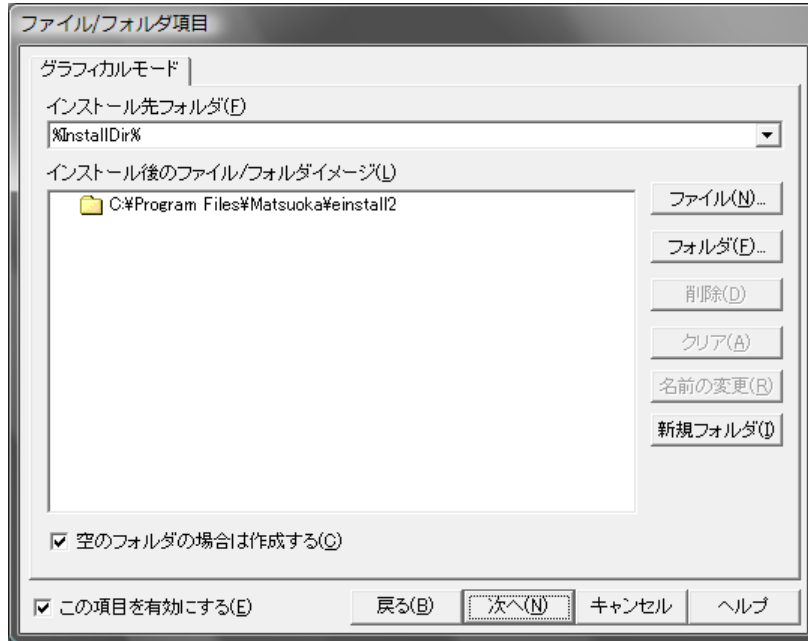
(3) オプションを指定するための画面が表示されます。オプションの詳細については「拡張オプションについて」を参照してください。

(4) <完了>ボタンをクリックします。

以上で、アプリケーションの構成ファイルに関する設定は終了です。

#### 6.4.5. グラフィカルモードを使用する

(1) グラフィカルモード画面が表示されます。



##### ■インストール先フォルダ

インストール先フォルダの上位フォルダを示す「フォルダ定数」を指定します。

フォルダ定数については、巻末の「フォルダ定数について」を参照ください。

##### ■インストール後のファイル/フォルダイメージ

実際にインストール処理を行った際にどのようなフォルダ構成になるかを確認することが出来ます。

##### ■ファイル

選択したフォルダに項目を追加します。

ファイルを選択している場合には、このボタンをクリックすることは出来ません。

※[1 つ又は複数のファイルをリストに追加する]と同様の機能です。

##### ■フォルダ

選択したフォルダに項目を追加します。

ファイルを選択している場合には、このボタンをクリックすることは出来ません。

※[指定フォルダ内のファイルをリストに追加する]と同様の機能です。

##### ■削除

選択した項目を削除します。

選択したフォルダにファイルやサブフォルダが含まれる場合は全て削除されます。

##### ■クリア

リスト内の項目を全て削除します。

##### ■名前の変更

選択項目の名前を変更することが出来ます。

ファイルを選択している場合には、このボタンをクリックすることは出来ません。

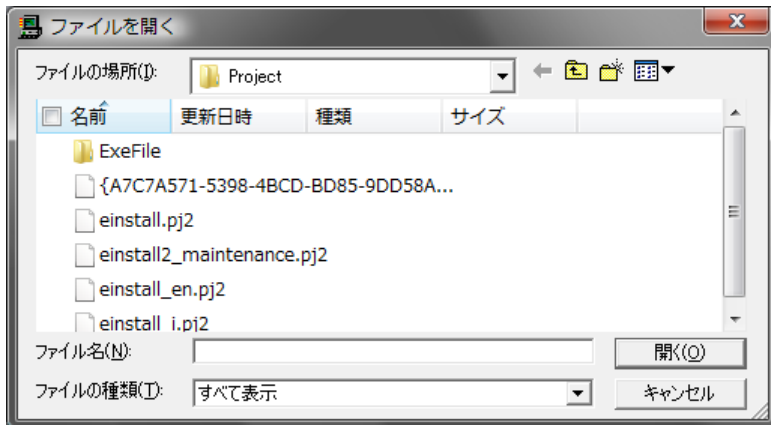
### ■新規フォルダ

選択したフォルダにサブフォルダを追加します。追加後、[名前の変更]により名前を変更してください。  
ファイルを選択している場合には、このボタンをクリックすることは出来ません。

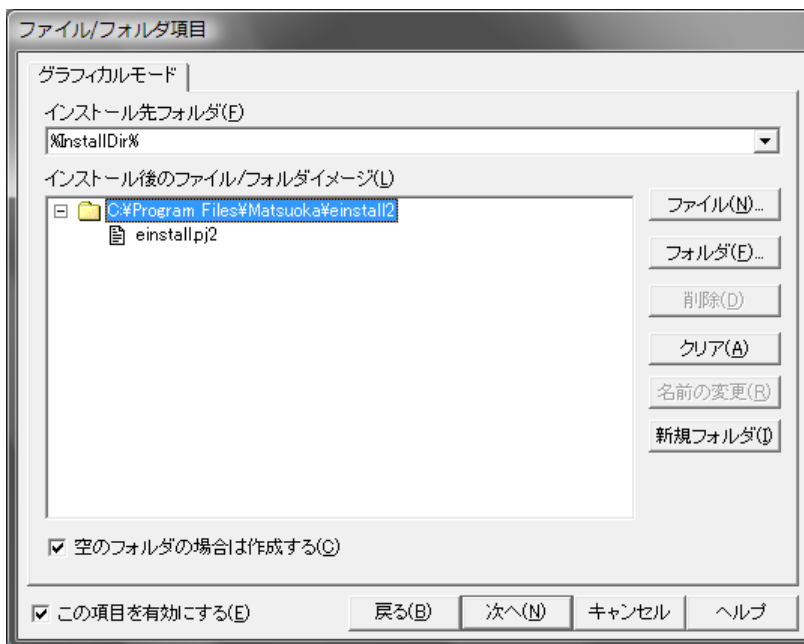
(2) <ファイル>ボタン又は<フォルダ>ボタンをクリックし必要なファイルをリストに追加します。

#### [ファイル]ボタンの場合の操作

1. [ファイルを開く]画面が表示されるので必要なファイルを選択します。CTRL キーを押下しながらファイルを選択すると複数のファイルを選択することが出来ます。必要なファイルが選択できたら<開く>ボタンをクリックします。

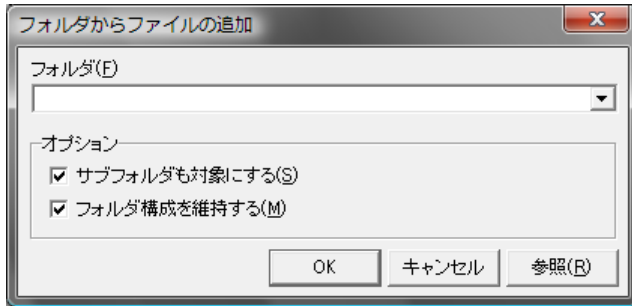


2. [インストール後のファイル/フォルダイメージ]に項目が追加されます。



### [フォルダ]ボタンの場合の操作

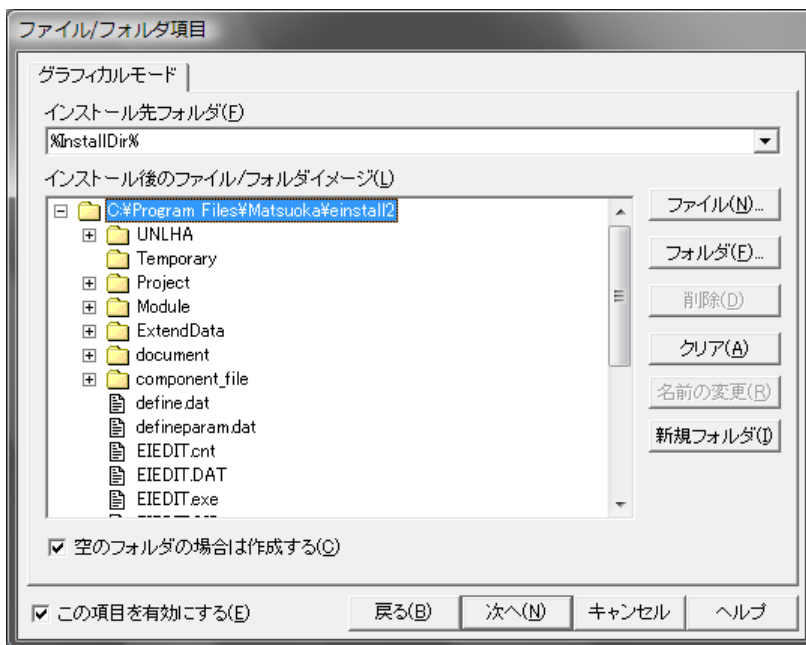
1. フォルダからファイルの追加画面が表示されます。



オプションについては「指定フォルダ内のファイルをリストに追加する」を参照してください。

2. <参照>ボタンをクリックし、アプリケーションの構成ファイルが格納されているフォルダを選択します。

3. [インストール後のファイル/フォルダイメージ]に項目が追加されます。



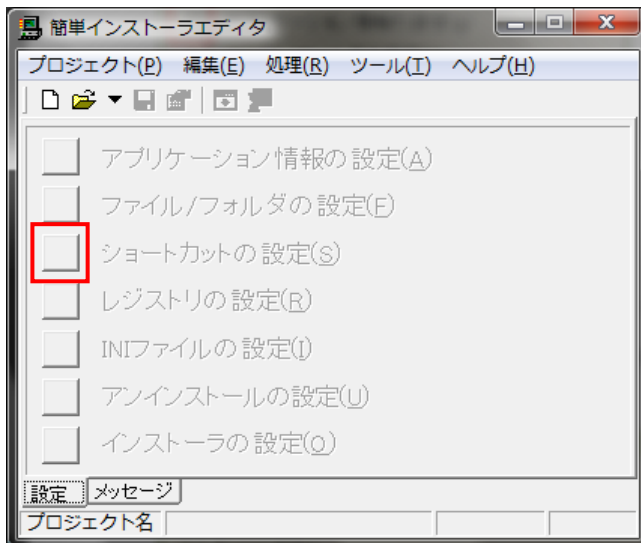
- (3) 必要に応じて不要な項目の削除を行います。
- (4) <次へ>ボタンをクリックします。
- (5) オプションを指定するための画面が表示されます。オプションの詳細については「拡張オプションについて」を参照してください。
- (6) <完了>ボタンをクリックします。

以上で、アプリケーションの構成ファイルに関する設定は終了です。

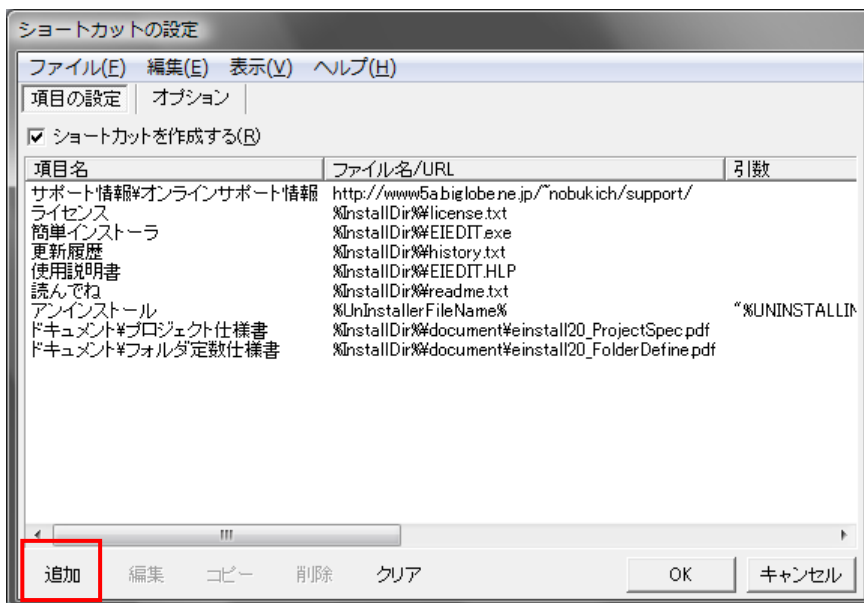
## 6.5. スタートメニューなどのショートカットの設定を行う

インストールしたアプリケーションを実行するために、スタートメニューから簡単に実行できるようにショートカットファイルを作成するための設定について解説します。

- (1) メイン画面の[ショートカットの設定の左側に有るボタンをクリックします。



- (2) [ショートカットの設定]ダイアログが表示されますので、<追加>ボタンをクリックします。



- (3) [ショートカット項目]ダイアログが表示されます。必須入力項目である、「項目名」および「ファイル名/フォルダ名」を指定し、<OK>ボタンをクリックします。

### ■項目名

実際にスタートメニューなどで表示される項目名になります。実態は\*.lnk ファイルですので、下記の文字は使用することは出来ません。また、項目名を¥で区切る(ヘルプ¥使用方法)と項目をサブグループに入れることが出来ません。

### ■ファイル名/フォルダ

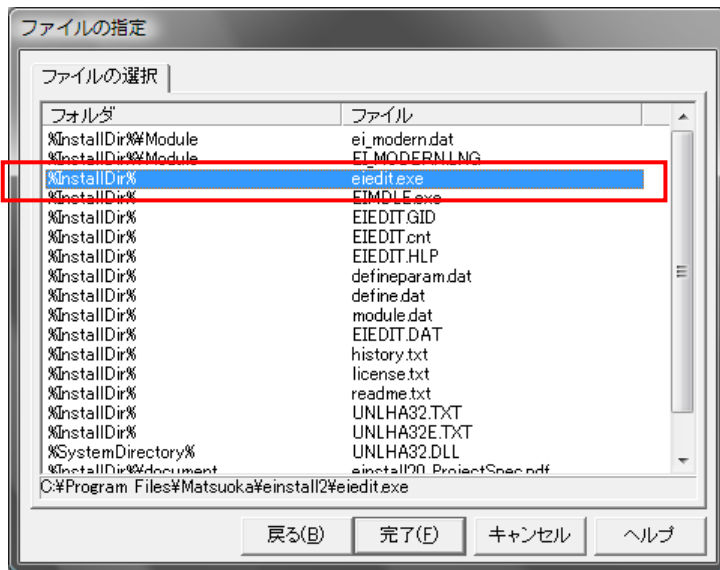
ショートカットファイルにリンクするファイル名もしくはフォルダを指定します。<参照>ボタンをクリックして該当するファイルを指定します。

[ファイル名/フォルダ名の指定について]

1. <参照>ボタンをクリックすると、下記の[ファイルの指定]ダイアログが表示されます。ここでは、[ファイル/フォルダの設定]で設定されているファイルに対してリンクを行う場合を説明します。



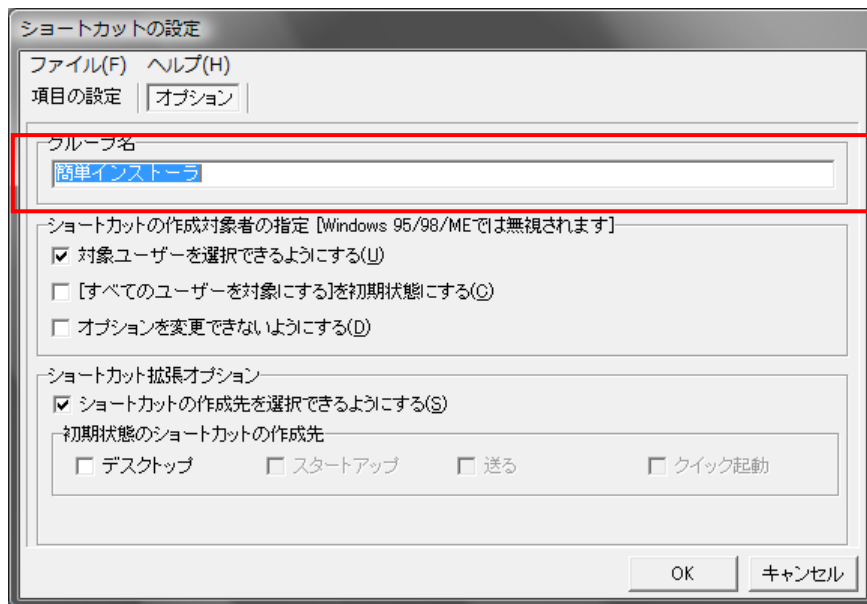
2. リンクを行いたい対象のファイルを選択します。



3. <完了>ボタンをクリックします。

(4) 必要に応じて、1 から 3 の作業を行います。

(5) 次に、「グループ名」を指定します。ここで指定したグループ名がスタートメニューに作成されこの中に一部を除くショートカットが作成されます。



(6) <OK>ボタンをクリックします。

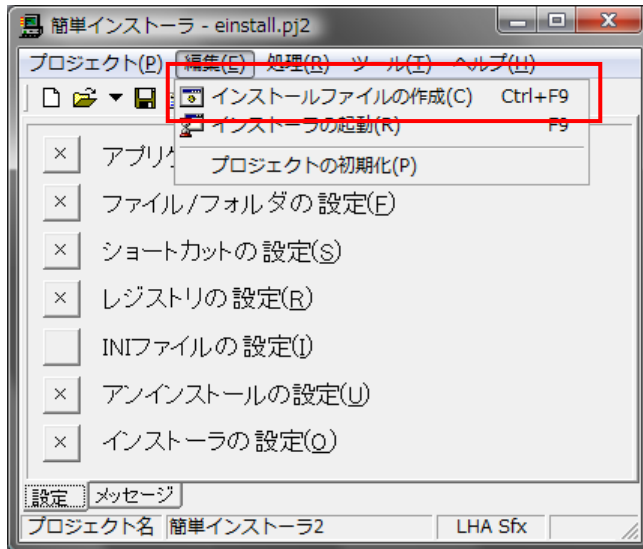
以上で、ショートカットに関する設定は終了です。

## 6.6. インストールファイルを作成する

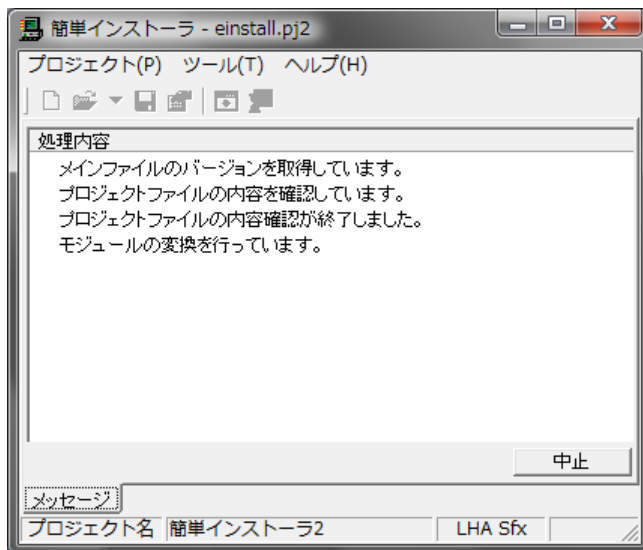
全ての必要事項の設定が終わったら準備は完了です。

ここでは今までの設定内容を元にインストールファイルを作成する手順について解説します。

- (1) メイン画面のメニュー「編集」をクリックし、その中に有る[インストールファイルの作成]を選択します。



- (2) インストールファイルの作成途中を表す、メッセージが表示されます。



- (3) インストールファイルの作成が終了すると、メイン画面に戻ります。もし、プロジェクトファイルの内容に不備が有る場合はメッセージ内にその不備内容が表示されます。その項目をダブルクリックすると原因と解決方法が表示されたヘルプが表示されますのでご覧ください。

上記で、インストール作成までの全ての操作が完了しました。作成したインストーラは新規作成時に指定した「インストールファイルの作成先」に作成されています。

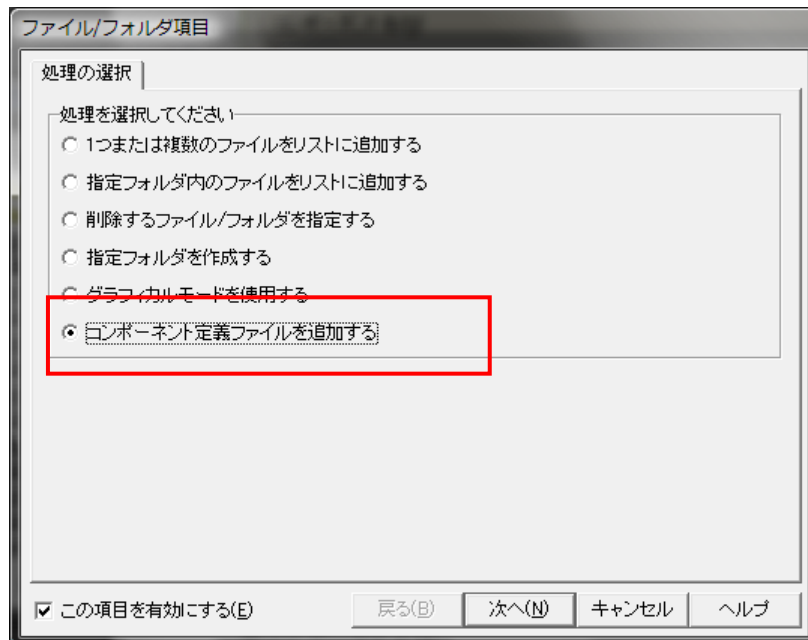
## 7. インストール時にコンポーネントを選択可能にする

簡単インストーラではインストール時に、システムにインストールする対象のコンポーネントを選択することの出来るインストーラを作成することが出来ます。

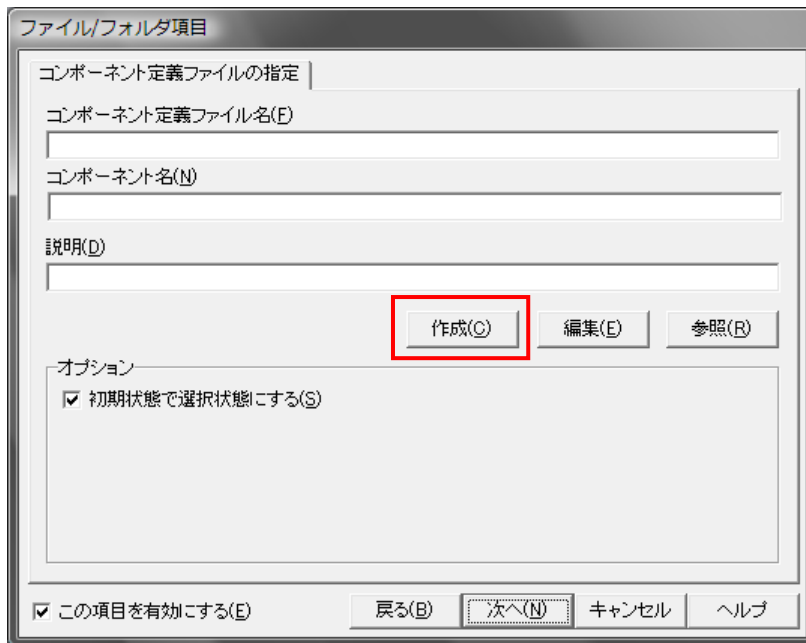
コンポーネントを選択するための画面を表示するためには[ファイル/フォルダの設定]画面でコンポーネント定義ファイルを追加する必要があります。追加されたコンポーネント定義ファイルは1つのコンポーネントとしてインストール時のリストに表示されます。コンポーネント定義ファイル以外の項目は、共通コンポーネントとして扱われインストール対象外とすることは出来ません。

### 7.1. 新規にコンポーネント定義ファイルを作成する

- (1) 「アプリケーションの構成ファイル及びフォルダについて設定する」を参照し、[ファイル/フォルダの設定]画面を開きます。
- (2) <追加>ボタンをクリックします。
- (3) <コンポーネント定義ファイルを追加する>を選択し<次へ>ボタンをクリックします。

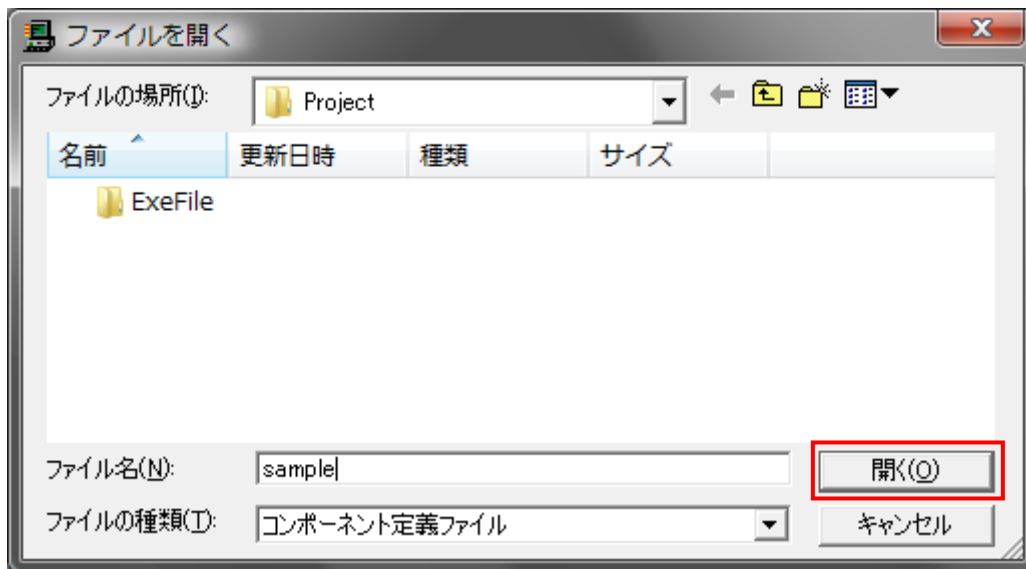


- (4) [コンポーネント定義ファイル]指定画面が表示されます。ここでは新しくコンポーネント定義ファイルを作成するので<作成>ボタンをクリックします。

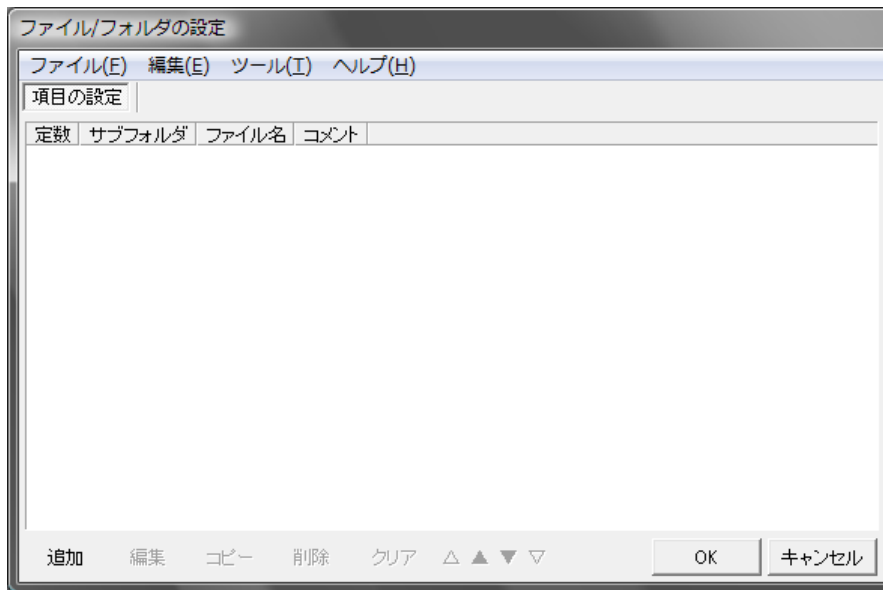


※上記の各項目についての詳細は後述します。

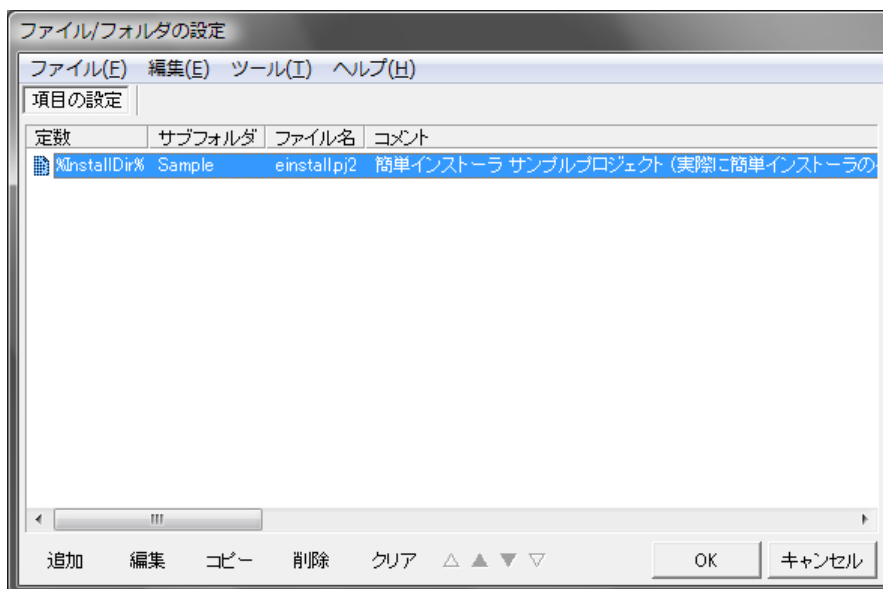
- (5) <作成>ボタンをクリックすると、ファイル名を入力するための画面が表示されます。任意のファイル名を入力し<開く>ボタンをクリックします。



(6) [ファイル/フォルダの設定]画面が表示されます。



(7) <追加>ボタンをクリックし項目を追加します。詳細については「アプリケーションの構成ファイル又はフォルダについて設定する」を参照してください。



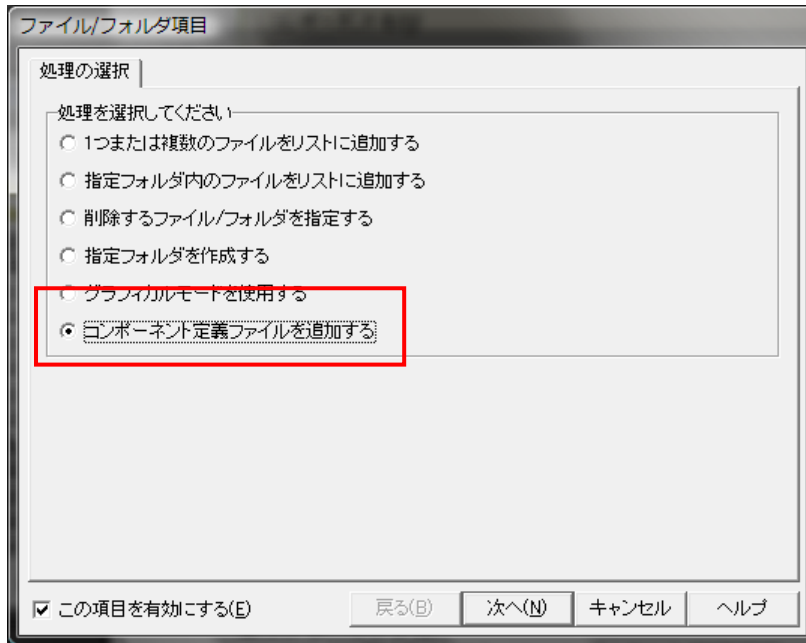
※コンポーネント定義ファイルには「コンポーネント定義ファイル」の項目は追加できません。

(8) <OK>ボタンをクリックします。

上記の作業にて、コンポーネントの構成ファイル及びフォルダなどの設定が完了しました。次はコンポーネントの名称などの設定を行いましょ。 「コンポーネントについて設定する」をご覧ください。

## 7.2. 既存のコンポーネント定義ファイルを使用する

- (1) 「アプリケーションの構成ファイル及びフォルダについて設定する」を参照し、[ファイル/フォルダの設定]画面を開きます。
- (2) <追加>ボタンをクリックし、[ファイル/フォルダ項目]画面を表示します。
- (3) <コンポーネント定義ファイルを追加する>を選択し<次へ>ボタンをクリックします。

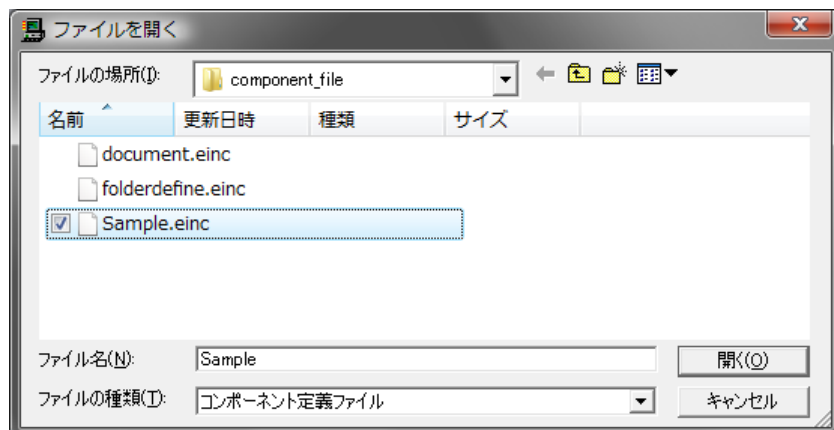


[コンポーネント定義ファイル]指定画面が表示されます。ここでは既存のコンポーネント定義ファイルを指定するので<参照>ボタンをクリックします。



※上記の各項目についての詳細は後述します。

- (4) ファイル名を選択する画面が表示されますので、既存のコンポーネント定義ファイル選択し<開く>ボタンをクリックします。



上記の操作にて、既存のファイルをコンポーネント定義ファイルとして使用する設定は完了です。  
次はコンポーネントの名称などの設定を行いましょ。 「コンポーネントについて設定する」をご覧ください。

### 7.3. コンポーネントについて設定する

コンポーネント定義ファイルの指定が完了しましたので、次はコンポーネント名称や説明などを設定する手順について解説します。

これらはインストール時に表示されインストールする際の参考となる非常に大切なものです。

- (1) コンポーネント名および説明を入力します。説明については任意ですがインストールする側が各コンポーネントについて知るためにも入力することを推奨します。

#### ■コンポーネント定義ファイル名

コンポーネントを定義している定義ファイルを指定します。直接ファイル名を入力するか後述する<作成>ボタン又は<参照>ボタンを使用してファイル名をすることが出来ます。

#### ■コンポーネント名

インストール時の[インストールコンポーネント選択]画面にて表示されるコンポーネント名です。

#### ■説明

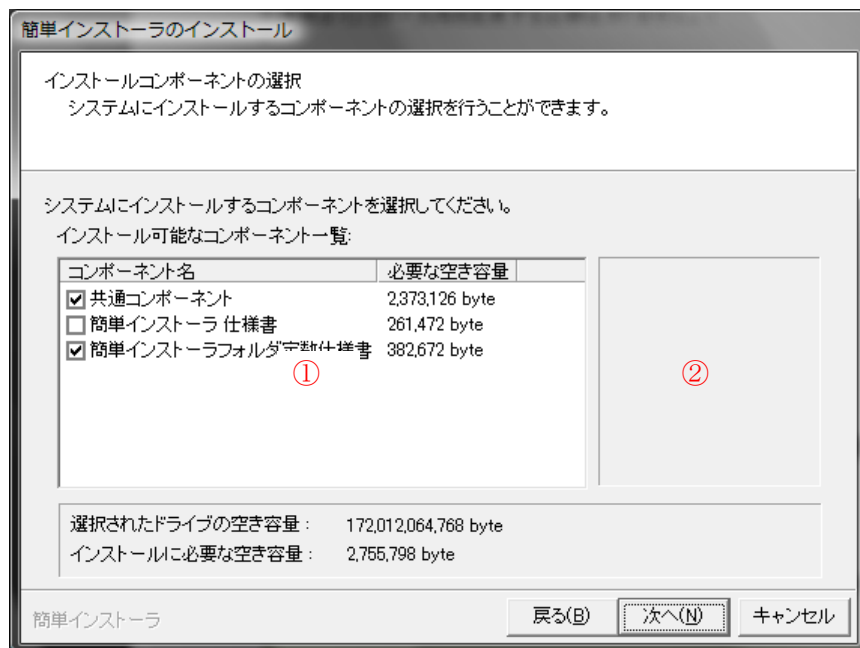
インストール時の[インストールコンポーネント選択]画面の各コンポーネントを選択した際に表示される説明を指定します。

#### ■初期状態で選択状態にする

サンプルファイルや上級者向けの資料などについては必ずしもインストールする必要は有りません。このような場合、この機能を無効にしておくことにより初期状態ではインストールされなくなります。

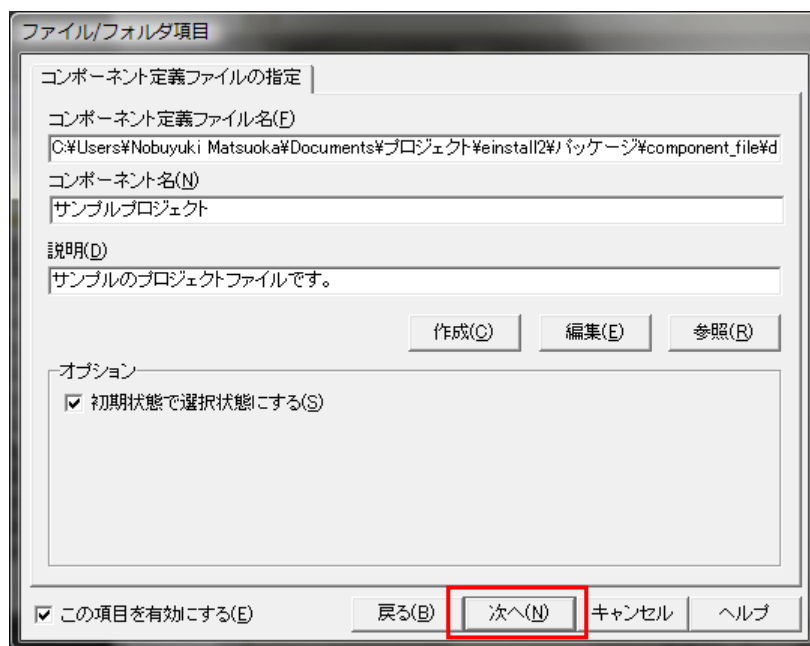


[設定項目について]



- ① コンポーネント名
- ② 説明

(2) コンポーネント名および説明が入力できたら、<次へ>ボタンをクリックします。



- (3) オプションを指定するための画面が表示されます。オプションの詳細については「拡張オプションについて」を参照してください。
- (4) <OK>ボタンをクリックし、[ファイル/フォルダの設定]画面を閉じます。

## 8. 拡張オプションについて

拡張オプションでは、それぞれの項目に対して対象となるフォルダや OS 及び処理条件を設定することが出来ます。

[詳細] タブ

The screenshot shows the 'Details' tab of the installer options dialog. It includes a 'Comment' field with the text '簡単インストーラ エディタ'. Below it is the 'Install folder' section, which has a checked option '標準のフォルダにインストールする(S)' and a dropdown menu for 'Folder definition (D)' set to '%InstallDir%'. There is also a 'Parameters (P)' field and a 'Details (D)' button. The 'OS settings' section contains the instruction '対象となるOSを選択します。' and an 'OS specification (Q)' button. At the bottom, the path 'C:\Program Files\Matsuoka\install2' is displayed.

### ■コメント

各ファイルに対するコメントを指定します。ここで指定されたコメントは実際のファイルのコピー時に表示されます。

### ■インストール先のフォルダ

〈標準のフォルダにインストールする〉が有効の場合[アプリケーション情報の設定]で指定されているフォルダがインストール先として使用されます。それ以外の場所にファイルをコピーしたい場合にここで個別に指定します。

### ■OS の設定

〈OS の指定〉ボタンをクリックすると、対象となる OS を指定することが出来ます。

「コンポーネント定義ファイル」の場合、指定した対象外の OS でインストーラ実行時 [インストールコンポーネントの選択]画面に表示されなくなります。

全ての項目が対象外の場合[インストールコンポーネントの選択]画面は表示されません。

The screenshot shows the 'OS specification' dialog box. It has tabs for 'Target OS' and 'Service Pack'. Under 'OS name (N)', there is a list of operating systems with checkboxes: Windows 95, Windows 98, Windows Millennium Edition, Windows NT4.0 Workstation, Windows 2000 Professional, Windows XP, Windows Server 2003, Windows Vista/Windows Server 2008, and Windows 7. All checkboxes are checked. A note at the bottom states: 'インストールを許可するOSを選択してください。インストーラ全体で許可するOSを変更する場合は「インストーラの設定」より行ってください。' Buttons for 'OK' and 'Cancel' are at the bottom.

The screenshot shows the 'OS specification' dialog box with a table of operating systems and service packs. The table is as follows:

| 対象OS                                | サービスパック        |
|-------------------------------------|----------------|
| Windows NT                          | Service Pack 6 |
| Windows 2000                        | Service Pack 4 |
| Windows XP                          | (指定なし)         |
| Windows Server 2003                 | (指定なし)         |
| Windows Vista / Windows Server 2008 | (指定なし)         |
| Windows 7                           | (指定なし)         |

Buttons for 'OK' and 'Cancel' are at the bottom.

[オプション]タブ

■ファイル属性

各ファイルに対しての属性を指定します。ファイルの属性については Windows のヘルプを参照してください。ファイル及びフォルダ以外の項目(ファイル・フォルダの削除等)の場合には設定することが出来ません。

■ファイルオプション

各ファイルに対しての処理を指定します。ファイル以外の項目(フォルダの作成や、ファイル・フォルダの削除等)の場合には設定することは出来ません。

[既にファイルが存在する場合は上書き確認メッセージを表示する]

チェックするとインストール先のフォルダ内に既にファイルが存在していた場合に上書きするかどうかを尋ねるメッセージを表示することが出来ます。上書き時にファイルにコメント情報が有る場合はファイル名ではなくコメント情報が表示されます。

[レジストリへ登録する(Active X)]

Active X などレジストリに登録しないとアプリケーションから使用することが出来ないものをインストールする場合に使用します。

このオプションを有効にすると「共有ファイルとしてシステムに登録」する機能が無条件に有効になります。

[共有ファイルとして登録 (Shared File)]

Windows の共有ファイルを管理しているレジストリ領域に該当ファイルを登録します。

ここにファイルが登録されている場合には、アンインストール時に同一のファイルが使用中であると認識された場合に確認メッセージが表示されるようになります。

[既にファイルが存在する場合はファイルのコピー処理をスキップする]

インストール先のフォルダに既に該当ファイルが存在する場合は、コピーおよび上書き処理をスキップします。該当ファイルがユーザーデータファイルなどの場合で存在する場合は上書きする必要がない場合などに使用してください。

[既にファイルが存在する場合はファイル名に日付を付加して保存する]

既にファイルがインストーラ先のフォルダに存在する場合は既存のファイル名の後にインストール時の日時情報を付加して保存し、インストーラパッケージ内に含まれているファイルをコピーします。

この処理は既存のファイルの新旧問わずファイルが存在していれば無条件に処理が実行されます。

※ファイル名は 既存ファイル名 yyyyymmdd\_HHMMSS.元のファイルの拡張子 になります。

[ファイルをコピーしない]

この機能が有効な場合インストールファイルの構成ファイルとしてインストールファイル作成時にインストーラに含まれますが、指定されているフォルダには実際にはコピーされなくなります。

「インストーラの設定」の「プログラムの実行」などで外部のインストーラを起動する場合などに使用します。

### **[既にファイルが存在する場合、バックアップを作成しアンインストール時に復元する]**

この機能が有効な場合、インストール時に対象となるファイルが既に存在していた場合ファイルをバックアップします。  
(バックアップ時のファイル名の形式は[既にファイルが存在する場合はファイル名に日付を付加して保存する]を参照してください。)

アンインストール時にはバックアップしたファイルを復元します。

### **[ファイルコピー時は日時情報を無視する]**

インストール時に、バージョン情報が存在する場合はバージョン情報を参照し、存在しない場合には日付を見てインストールするようにしています。

この機能が有効な場合、バージョン情報のみを参照するようになりバージョン情報が存在しない場合は常に上書き処理を行います。

(バージョン情報については[ファイルコピー時はバージョン情報を無視する]を参照してください。)

### **[ファイルコピー時はバージョン情報を無視する]**

インストール時に、バージョン情報が存在する場合はバージョン情報を参照し、存在しない場合には日付を見てインストールするようにしています。

この機能を有効な場合、日付のみを参照するようになりバージョンに関係なくファイルの日付が新しい場合上書き処理を行います。

(日付情報については[ファイルコピー時は日付情報を無視する]を参照してください。)

## 9. フォルダ定数について

### フォルダ定数

簡単インストーラで使用できるフォルダ定数はパラメータ指定できないものを除き下記の書式となります。また、パラメータ内で複数の指定を行う場合は、記号を使用します。

%定数%¥パラメータ

フォルダ定数については大文字・小文字は問いません。

### 定数の種類について

#### A) フォルダ定数

システム内の各種フォルダを表す定数です。

このフォルダ定数はフォルダ定数内で複数回使用することが出来ます。

#### B) 特殊フォルダ定数

フォルダ定数と同様システム内のフォルダを表す定数です。

ただし、通常のフォルダ定数と異なりパラメータの指定が特殊なため、1回のみ使用できます。

#### C) システム定数

簡単インストーラ内部で使用されている各種設定の内容を表す定数です。

システム内部の値のため内容については不定です。

## 定数一覧

### (1) %WindowsDirectory%

#### 定数インデックス

1

#### 分類

フォルダ定数

#### 説明

Windows の Windows フォルダを取得する場合に使用します。

#### 構文

%WindowsDirectory%¥パラメータ

#### パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

## 補足

通常、Windows フォルダはインストールする OS のバージョンやインストール方法により異なりますが基本的には下記のリストになります。

| OS   | フォルダ       | 補足                                       |
|--|------------|--|
| Windows 95<br>Windows 98 (Second Edition 含む)<br>Windows Me   | C:¥WINDOWS |  |
| Windows NT4.0<br>Windows 2000  | C:¥WINNT   |  |
| Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional Edition<br>Windows Vista<br>Windows 7<br>Windows Server 2003<br>Windows Server 2008 | C:¥WINDOWS | インストール方法やアップグレード方法により C:¥WINNT の場合も有ります。 |

(2) %SystemDirectory%

定数インデックス

2

分類

フォルダ定数

説明

Windows の System フォルダを取得する場合に使用します。

構文

%SystemDirectory%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

通常、System フォルダはインストールする OS のバージョンやインストール方法により異なりますが基本的には下記のリストになります

| OS   | フォルダ                | 補足                                       |
|--|---------------------|--|
| Windows 95<br>Windows 98 (Second Edition 含む)<br>Windows Me   | C:¥WINDOWS¥System   |  |
| Windows NT4.0<br>Windows 2000  | C:¥WINNT¥System32   |  |
| Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional Edition<br>Windows Vista<br>Windows 7<br>Windows Server 2003<br>Windows Server 2008 | C:¥WINDOWS¥System32 | インストール方法やアップグレード方法により C:¥WINNT の場合も有ります。 |



(3) %ProgramFilesDir%

定数インデックス

3

分類

フォルダ定数

説明

Windows の Program Files フォルダを取得する場合に使用します。

構文

%ProgramFilesDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

通常、Program Files フォルダはインストールする OS のバージョンやインストール方法により異なりますが基本的には下記のリストになります。

| OS  | フォルダ             | 補足 |
|---|------------------|----|
| Windows 95<br>Windows 98 (Second Edition 含む)<br>Windows Me<br>Windows NT4.0<br>Windows 2000<br>Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional Edition<br>Windows Vista<br>Windows 7<br>Windows Server 2003<br>Windows Server 2008 | C:¥Program Files |    |

(4) %SystemRootDir%

定数インデックス

4

分類

フォルダ定数

説明

Windows がインストールされているドライブを取得する場合に使用します。

構文

%SystemRootDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

通常、システムドライブはインストール方法により異なりますが基本的には下記のリストになります。

| OS                              | フォルダ | 補足 |
|---------------------------------|------|----|
| Windows 95                      | C:¥  |    |
| Windows 98 (Second Edition 含む)  |      |    |
| Windows Me                      |      |    |
| Windows NT4.0                   |      |    |
| Windows 2000                    |      |    |
| Windows XP Home Edition         |      |    |
| Windows XP Professional Edition |      |    |
| Windows Vista                   |      |    |
| Windows 7                       |      |    |
| Windows Server 2003             |      |    |
| Windows Server 2008             |      |    |

(5) %DosCommandDir%

定数インデックス

5

分類

フォルダ定数

説明

MS-DOS プロンプト又はコマンドプロンプトのコマンドプログラムが格納されているフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%DosCommandDir%¥サブフォルダ 又はファイル

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

通常、コマンドプログラムが格納されているフォルダはインストール方法により異なるが基本的には下記のリストになる。

| OS   | フォルダ                | 補足 |
|--|---------------------|----|
| Windows 95<br>Windows 98 (Second Edition 含む)<br>Windows Me   | C:¥WINDOWS¥Command  |    |
| Windows NT4.0<br>Windows 2000  | C:¥WINNT¥System32   |    |
| Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional Edition<br>Windows Vista<br>Windows 7<br>Windows Server 2003<br>Windows Server 2008 | C:¥WINDOWS¥System32 |    |

(6) %DesktopDir%

定数インデックス

6

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のデスクトップフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%DesktopDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

なし

(7) %ProgramDir%

定数インデックス

7

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のスタートメニューのプログラムフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%ProgramDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

なし

(8) %StartMenuDir%

定数インデックス

8

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のスタートメニューのフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%StartMenuDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

通常、スタートメニューフォルダは下記のリストになる。

| OS  | フォルダ  | 補足 |
|---|---|----|
| Windows 95<br>Windows 98 (Second Edition 含む)<br>Windows Me  |   |    |
| Windows NT4.0   |   |    |
| Windows 2000<br>Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional Edition<br>Windows Server 2003 | C:¥Documents and Settings¥{ユーザー名}¥スタート メニュー |    |

(9) %SendToDir%

定数インデックス

9

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有の送るメニューの各項目が格納されているフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%SendToDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

通常、送るフォルダは下記のリストになる。

| OS  | フォルダ                                     | 補足 |
|---|--|----|
| Windows 95<br>Windows 98 (Second Edition 含む)<br>Windows Me  |  |    |
| Windows NT4.0   |  |    |
| Windows 2000<br>Windows XP Home Edition<br>Windows XP Professional Edition<br>Windows Server 2003 | C:¥Documents and Settings¥{ユーザー名}¥SendTo |    |

(10) %StartupDir%

定数インデックス

10

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のスタートメニューのスタートアップフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%StartupDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

このフォルダ定数自体に、サブフォルダを指定することは出来ませんが Windows の仕様上サブフォルダに格納されているものに関しては自動的に起動しないのでサブフォルダを作成しないこと。



(11) %FavoritesDir%

定数インデックス

11

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のお気に入りの項目が格納されているフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%FavoritesDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

なし

(12) %CommonDesktopDir%

定数インデックス

12

分類

フォルダ定数

説明

全ユーザーに共通のデスクトップフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%CommonDesktopDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

なし

(13) %CommonProgramDir%

定数インデックス

13

分類

フォルダ定数

説明

全ユーザー共通のスタートメニューのプログラムフォルダする場合に使用します。

構文

%CommonProgramDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                 | 省略可能 |
|----|--------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定。 | レ    |

補足

なし

(14) %CommonStartMenuDir%

定数インデックス

14

分類

フォルダ定数

説明

全ユーザー共通のスタートメニューのフォルダを取得する場合に使用します。

構文

%CommonStartMenuDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定します。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(15) %CommonStartupDir%

定数インデックス

15

分類

フォルダ定数

説明

全ユーザー共通のスタートアップグループのフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%CommonStartupDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

このフォルダ定数自体に、サブフォルダを指定することは出来るが Windows の仕様上サブフォルダに格納されているものに関しては自動的に起動しないのでサブフォルダを作成しないこと。

(16) %CommonFavoritesDir%

定数インデックス

16

分類

フォルダ定数

説明

全ユーザー共通のお気に入りの項目が格納されているフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%CommonFavoritesDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(17) %QuickLaunchDir%

定数インデックス

17

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有の「クイックランチ」(Windows XP ではクイック起動)のショートカットが格納されているフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%QuickLaunchDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(18) %AppDataDir%

定数インデックス

18

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のアプリケーションに関するデータが格納されているフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%AppDataDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし



(19) %MyDocumentsDir%

定数インデックス

19

分類

フォルダ定数

説明

ユーザー固有のデータが格納されているフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%MyDocumentsDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

%MyDocumentDir%でも可能です。

(20) %TempDir%

定数インデックス

20

分類

フォルダ定数

説明

Windows の作業用のフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%TempDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(21) %AbsoluteDir%

定数インデックス

51

分類

特殊フォルダ定数

説明

ドライブ名を含めたフルパスを指定する場合に使用する。

構文

%AbsoluteDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。ファイルを実行する場合などで指定する場合はファイル名のみ指定することが可能です。<br>Ver.2.08b2 より環境変数使用可能 |      |

サンプル

- 1) C:¥Program Files¥Matsuoka¥install2¥EIEDIT.EXE を指定する場合  
%AbsoluteDir%¥C:¥Program Files¥Matsuoka¥install2¥EIEDIT.EXE
- 2) フォルダ定数を含んだフルパスで指定する場合  
%AbsoluteDir%¥%InstallDir¥EIEDIT.EXE
- 3) ファイル名のみを指定する場合  
%AbsoluteDir%¥EIEDIT.EXE

補足

なし

(22) %SearchFileDir%

定数インデックス

52

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたファイルを検索し、該当するフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%SearchFileDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | <p>検索するファイル名を指定する。<br/>                     ファイル名には¥?&lt;&gt; ,などの文字を使用することは出来ない。<br/>                     複数のファイルを指定する場合は :を使用する。複数のファイルを指定した場合、指定したファイルがフォルダに 1 つでも存在しない場合は対象外のフォルダとして処理する。<br/>                     ファイル名は 10 個まで指定できます。</p> |      |
| ②  | <p>検索時のオプションを指定する。</p>  | レ    |

値 説明

ALL 全てのドライブ(リムーバブル・ネットワークドライブ除く)を検索する

SYSTEM Windows のインストールされているシステムドライブのみを検索する。(省略時)

サンプル

1) Windows のシステムドライブのみを対象に EIEDIT.EXE の格納されているフォルダを取得する場合

%SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE,SYSTEM

もしくは

%SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE

2) 全ドライブ対象に EIEDIT.EXE の格納されているフォルダを取得する場合

%SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE,ALL

3) 指定ファイル(複数)が全て存在するフォルダを取得する場合

%SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE:EIEDIT.DAT

補足

なし

(23) %CdromDriveDir%

定数インデックス

53

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたファイルが存在する CD-ROM ドライブを基準としたパスを取得する場合に使用する。

構文

%CdromDriveDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容   | 省略可能 |
|----|--|------|
| ①  | 検索するファイル名を指定する。CD-ROM に対するサブフォルダを指定することが可能。<br>ファイル名には ? < >  , などの文字を使用することは出来ない。 |      |
| ②  | 検索後のドライブに対するサブフォルダ・ファイル名を指定する。   | レ    |

サンプル

1) EIEDIT.EXE の存在する CD-ROM ドライブを取得する場合

%CdromDriveDir%¥EIEDIT.EXE

2) CD-ROM 内のルートを基準としたサブフォルダ(SAMPLE)に EIEDIT.EXE が格納されている CD-ROM ドライブを取得する場合

%CdromDriveDir%¥SAMPLE¥EIEDIT.EXE

補足

なし

(24) %SearchFileDirEx%

定数インデックス

54

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたファイルを検索し、該当するフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%SearchFileDirEx%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置     | 内容   | 省略可能 |    |     |                                   |        |  |   |
|--------|--|------|----|-----|-----------------------------------|--------|--|---|
| ①      | <p>検索するファイル名を指定する。<br/>                     ファイル名には¥?&lt;&gt; ,などの文字を使用することは出来ない。<br/>                     複数のファイルを指定する場合は:を使用する。複数のファイルを指定した場合、指定したファイルがフォルダに1つでも存在しない場合は対象外のフォルダとして処理する。<br/>                     ファイル名は10個まで指定できます。</p>   |      |    |     |                                   |        |  |   |
| ②      | <p>検索されたフォルダに付加するサブフォルダを指定する。</p>  |      |    |     |                                   |        |  |   |
| ③      | <p>検索時のオプションを指定する。</p> <table border="1" data-bbox="223 985 1228 1097"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALL</td> <td>全てのドライブ(リムーバブル・ネットワークドライブ除く)を検索する</td> </tr> <tr> <td>SYSTEM</td> <td>Windowsのインストールされているシステムドライブのみを検索する。(省略時)</td> </tr> </tbody> </table> | 値    | 説明 | ALL | 全てのドライブ(リムーバブル・ネットワークドライブ除く)を検索する | SYSTEM | Windowsのインストールされているシステムドライブのみを検索する。(省略時) | レ |
| 値      | 説明   |      |    |     |                                   |        |  |   |
| ALL    | 全てのドライブ(リムーバブル・ネットワークドライブ除く)を検索する  |      |    |     |                                   |        |  |   |
| SYSTEM | Windowsのインストールされているシステムドライブのみを検索する。(省略時)   |      |    |     |                                   |        |  |   |

サンプル

- Windowsのシステムドライブのみを対象にEIEDIT.EXEの格納されているフォルダを取得する場合  
 %SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE,,SYSTEM  
 もしくは  
 %SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE
- Windowsのシステムドライブのみを対象にEIEDIT.EXEの格納されているフォルダを取得し、更にその下のSAMPLEフォルダを指定する場合  
 %SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE,SAMPLE,SYSTEM  
 もしくは  
 %SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE,SAMPLE
- 全ドライブ対象にEIEDIT.EXEの格納されているフォルダを取得する場合  
 %SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE,SAMPLE,ALL
- 指定ファイル(複数)が全て存在するフォルダを取得する場合  
 %SearchFileDir%¥EIEDIT.EXE:EIEDIT.DAT

補足

なし

(25) %Registry%

定数インデックス

101

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリよりデータを取得する場合に使用する。

構文

%Registry%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | <p>ルートキーを指定する。<br/>現在指定できるルートキーは下記の通り。</p> <p>HKEY_CLASSES_ROOT<br/>HKEY_CURRENT_USER<br/>HKEY_LOCAL_MACHINE<br/>HKEY_USERS<br/>HKEY_CURRENT_CONFIG</p> |      |
| ②  | サブキーを指定する。  |      |
| ③  | <p>値名を指定する。<br/>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。</p>   |      |
| ④  | 指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。環境変数使用可能です。   | レ    |
| ⑤  | <p>取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br/>データは末尾に結合される。</p>   | レ    |

補足

なし

(26) %RegistryDir%

定数インデックス

102

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリよりデータを取得する場合に使用する。

このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。

構文

%RegistryDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | ルートキーを指定する。<br>現在指定できるルートキーは下記の通り。<br><br>HKEY_CLASSES_ROOT<br>HKEY_CURRENT_USER<br>HKEY_LOCAL_MACHINE<br>HKEY_USERS<br>HKEY_CURRENT_CONFIG |      |
| ②  | サブキーを指定する。  |      |
| ③  | 値名を指定する。<br>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。   |      |
| ④  | 指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。ここでは、簡単インストーラのフォルダ定数の他、環境変数を使用することが出来ます。  | レ    |
| ⑤  | 取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。   | レ    |

補足

旧バージョンに対する互換用。%RegistryDirEx%を使用すること。



(27) %RegistryPath%

定数インデックス

103

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリよりデータを取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。  
%RegistryDir%と異なり末尾に¥が付加される。

構文

%RegistryPath%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | ルートキーを指定する。<br>現在指定できるルートキーは下記の通り。<br><br>HKEY_CLASSES_ROOT<br>HKEY_CURRENT_USER<br>HKEY_LOCAL_MACHINE<br>HKEY_USERS<br>HKEY_CURRENT_CONFIG |      |
| ②  | サブキーを指定する。  |      |
| ③  | 値名を指定する。<br>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。   |      |
| ④  | 指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。ここでは、簡単インストーラのフォルダ定数の他、環境変数を使用することが出来ます。  | レ    |
| ⑤  | 取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。   | レ    |

補足

旧バージョンに対する互換用。%RegistryPathEx%を使用すること。

(28) %RegistryFileName%

定数インデックス

104

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリよりデータを取得する場合に使用する。

このフォルダ定数では取得されたデータのファイル名に該当する部分のみを取得する。

構文

%RegistryFileName%<sup>①</sup>パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | ルートキーを指定する。<br>現在指定できるルートキーは下記の通り。<br><br>HKEY_CLASSES_ROOT<br>HKEY_CURRENT_USER<br>HKEY_LOCAL_MACHINE<br>HKEY_USERS<br>HKEY_CURRENT_CONFIG |      |
| ②  | サブキーを指定する。  |      |
| ③  | 値名を指定する。<br>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。   |      |
| ④  | 指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。ここでは、簡単インストーラのフォルダ定数の他、環境変数を使用することが出来ます。  | レ    |
| ⑤  | 取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。   | レ    |

補足

なし

(29) %RegistryDirEx%

定数インデックス

105

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリよりデータを取得する場合に使用する。

このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。

構文

%RegistryDirEx%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | ルートキーを指定する。<br>現在指定できるルートキーは下記の通り。<br><br>HKEY_CLASSES_ROOT<br>HKEY_CURRENT_USER<br>HKEY_LOCAL_MACHINE<br>HKEY_USERS<br>HKEY_CURRENT_CONFIG |      |
| ②  | サブキーを指定する。  |      |
| ③  | 値名を指定する。<br>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。   |      |
| ④  | 指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。ここでは、簡単インストーラのフォルダ定数の他、環境変数を使用することが出来ます。  | レ    |
| ⑤  | 取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。   | レ    |

補足

なし

(30) %RegistryPathEx%

定数インデックス

106

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリよりデータを取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。  
%RegistryDirEx%と異なり末尾に¥が付加される。

構文

%RegistryPathEx%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | ルートキーを指定する。<br>現在指定できるルートキーは下記の通り。<br><br>HKEY_CLASSES_ROOT<br>HKEY_CURRENT_USER<br>HKEY_LOCAL_MACHINE<br>HKEY_USERS<br>HKEY_CURRENT_CONFIG |      |
| ②  | サブキーを指定する。  |      |
| ③  | 値名を指定する。<br>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。   |      |
| ④  | 指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。ここでは、簡単インストーラのフォルダ定数の他、環境変数を使用することが出来ます。  | レ    |
| ⑤  | 取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。   | レ    |

補足

なし

(31) %IniFile%

定数インデックス

151

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定された INI ファイルより値を取得する場合に使用する。

構文

%IniFile%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容   | 省略可能 |
|----|--|------|
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。            |      |
| ②  | セクション名を指定する。   |      |
| ③  | 値名を指定する。   |      |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。<br>Ver.2.08b2 以降より環境変数が使用可能。 |      |
| ⑤  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。                               | レ    |

補足

なし

(32) %IniFileDir%

定数インデックス

152

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定された INI ファイルより値を取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。

構文

%IniFileDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容   | 省略可能 |
|----|--|------|
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。            |      |
| ②  | セクション名を指定する。   |      |
| ③  | 値名を指定する。   |      |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。<br>Ver.2.08b2 以降より環境変数が使用可能。 |      |
| ⑤  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。                               | レ    |

補足

旧バージョンとの互換用。%IniFileDirEx%を使用すること。

(33) %IniFilePath%

定数インデックス

153

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定された INI ファイルより値を取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。  
%IniFileDir%と異なり末尾に¥が付加される。

構文

%IniFilePath%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容   | 省略可能 |
|----|--|------|
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。            |      |
| ②  | セクション名を指定する。   |      |
| ③  | 値名を指定する。   |      |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。<br>Ver.2.08b2 以降より環境変数が使用可能。 |      |
| ⑤  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。                               | レ    |

補足

旧バージョンとの互換用。%IniFilePathEx%を使用すること。

(34) %IniFileFileName%

定数インデックス

154

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定された INI ファイルより値を取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのファイル名に該当する部分のみを取得する。

構文

%IniFileFileName%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容   | 省略可能 |
|----|--|------|
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。            |      |
| ②  | セクション名を指定する。   |      |
| ③  | 値名を指定する。   |      |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。<br>Ver.2.08b2 以降より環境変数が使用可能。 |      |
| ⑤  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。                               | レ    |

補足

なし



(35) %IniFileDirEx%

定数インデックス

155

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定された INI ファイルより値を取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。

構文

%IniFileDirEx%*%*パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容   | 省略可能 |
|----|--|------|
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。            |      |
| ②  | セクション名を指定する。   |      |
| ③  | 値名を指定する。   |      |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。<br>Ver.2.08b2 以降より環境変数が使用可能。 |      |
| ⑤  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。                               | レ    |

補足

なし

(36) %IniFilePathEx%

定数インデックス

156

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定された INI ファイルより値を取得する場合に使用する。  
このフォルダ定数では取得されたデータのフォルダに該当する部分のみを取得する。  
%IniFileDir%と異なり末尾に¥が付加される。

構文

%IniFilePathEx%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容  | 省略可能 |
|----|---|------|
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。 |      |
| ②  | セクション名を指定する。  |      |
| ③  | 値名を指定する。  |      |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。環境変数が使用可能です。       |      |
| ⑤  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。                    | レ    |

補足

なし

(37) %RegistryValueChange%

定数インデックス

201

分類

特殊フォルダ定数

説明

指定されたレジストリからデータを取得し、変更を加えたデータを取得する場合に使用する。

構文

%RegistryValueChange%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置      | 内容  | 省略可能 |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
|---------|---|------|----|-----|----------------------|--------|--------------------|--------|---------------------------|---------|--------------------------------|--|
| ①       | <p>ルートキーを指定する。<br/>現在指定できるルートキーは下記の通り。</p> <p>HKEY_CLASSES_ROOT<br/>HKEY_CURRENT_USER<br/>HKEY_LOCAL_MACHINE<br/>HKEY_USERS<br/>HKEY_CURRENT_CONFIG</p>   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ②       | サブキーを指定する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ③       | <p>値名を指定する。<br/>省略時は各キーに関連づけされている(標準値)が指定される。</p>   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ④       | <p>指定されたレジストリデータが存在しなかった場合のデフォルト値となる値を指定する。<br/>Ver.2.08b2 以降より環境変数使用可能。</p>  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ⑤       | <p>値に対してどのような変更を加えるかどうかを指定する。何らかの原因により値に対し変更を加えることが出来なかった場合はそのままの値が返る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ADD</td> <td>既存の値に対して指定された値を追加する。</td> </tr> <tr> <td>DELETE</td> <td>既存の値から指定された値を削除する。</td> </tr> <tr> <td>ADDTOP</td> <td>既存の値に対して指定された値を先頭位置に追加する。</td> </tr> <tr> <td>ADDLAST</td> <td>既存の値に対して指定された値を最後に追加する。ADDと同様。</td> </tr> </tbody> </table> | 値    | 機能 | ADD | 既存の値に対して指定された値を追加する。 | DELETE | 既存の値から指定された値を削除する。 | ADDTOP | 既存の値に対して指定された値を先頭位置に追加する。 | ADDLAST | 既存の値に対して指定された値を最後に追加する。ADDと同様。 |  |
| 値       | 機能  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ADD     | 既存の値に対して指定された値を追加する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| DELETE  | 既存の値から指定された値を削除する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ADDTOP  | 既存の値に対して指定された値を先頭位置に追加する。   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ADDLAST | 既存の値に対して指定された値を最後に追加する。ADDと同様。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ⑥       | 値を指定。環境変数使用可能   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |
| ⑦       | <p>取得したレジストリデータと結合するデータを指定する。<br/>データは末尾に結合される。</p>   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                |  |

補足

なし

(38) %IniFileValueChange%

| 定数インデックス                                       |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
|--|---|------|----|-----|----------------------|--------|--------------------|--------|---------------------------|---------|---------------------------------|--|
| 251  |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 分類   |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 特殊フォルダ定数                                       |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 説明   |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 指定された INI ファイルからデータを取得し、変更を加えたデータを取得する場合に使用する。 |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 構文   |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| %IniFileValueChange%¥パラメータ                     |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| パラメータ  |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 下記のパラメータを指定する。                                 |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 位置   | 内容  | 省略可能 |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ①  | 対象となる INI ファイルのファイル名をフルパスで指定する。ここでのフルパスにはフォルダ定数を含めることが可能。   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ②  | セクション名を指定する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ③  | 値名を指定する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ④  | 指定セクション又は値名が存在しなかった場合に使用されるデフォルト値を指定する。<br>Ver.2.08b2 以降より環境変数が使用可能。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ⑤  | 値に対してどのような変更を加えるかどうかを指定する。何らかの原因により値に対し変更を加えることが出来なかった場合はそのままの値が返る。<br><br><table border="1" data-bbox="223 1041 1228 1243"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ADD</td> <td>既存の値に対して指定された値を追加する。</td> </tr> <tr> <td>DELETE</td> <td>既存の値から指定された値を削除する。</td> </tr> <tr> <td>ADDTOP</td> <td>既存の値に対して指定された値を先頭位置に追加する。</td> </tr> <tr> <td>ADDLAST</td> <td>既存の値に対して指定された値を最後に追加する。ADD と同様。</td> </tr> </tbody> </table> | 値    | 機能 | ADD | 既存の値に対して指定された値を追加する。 | DELETE | 既存の値から指定された値を削除する。 | ADDTOP | 既存の値に対して指定された値を先頭位置に追加する。 | ADDLAST | 既存の値に対して指定された値を最後に追加する。ADD と同様。 |  |
| 値  | 機能  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ADD  | 既存の値に対して指定された値を追加する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| DELETE   | 既存の値から指定された値を削除する。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ADDTOP   | 既存の値に対して指定された値を先頭位置に追加する。   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ADDLAST  | 既存の値に対して指定された値を最後に追加する。ADD と同様。   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ⑥  | 値を指定。Ver.2.08b2 より環境変数使用可能  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| ⑦  | 取得したデータと結合するデータを指定する。<br>データは末尾に結合される。  |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| 補足   |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |
| なし   |   |      |    |     |                      |        |                    |        |                           |         |                                 |  |

(39) %InstallDir%

定数インデックス

1000

分類

システム定数

説明

インストール時の「インストール先のフォルダ」で指定されているフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%InstallDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(40) %InstallDrive%

定数インデックス

1001

分類

システム定数

説明

インストール時の「インストール先のフォルダ」で指定されているフォルダからドライブ文字を取得する場合に使用する。

構文

%InstallDrive%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(41) %InstallerDir%

定数インデックス

1002

分類

システム定数

説明

インストーラプログラムが存在するフォルダを取得する場合に使用する。

構文

%InstallerDir%¥パラメータ

パラメータ

下記のパラメータを指定する。

| 位置 | 内容                   | 省略可能 |
|----|----------------------|------|
| ①  | サブフォルダおよびファイル名を指定する。 | レ    |

補足

なし

(42) %DateTime%

定数インデックス

1003

分類

システム定数

説明

Windows のシステム日時を取得する場合に使用する。

構文

%DateTime%

パラメータ

なし

補足

なし

(43) %Date%

定数インデックス

1004

分類

システム定数

説明

Windows のシステム日付を取得する場合に使用する。

構文

%Date%

パラメータ

なし

補足

なし

(44) %Time%

定数インデックス

1005

分類

システム定数

説明

Windows のシステム時間を取得する場合に使用する。

構文

%Time%

パラメータ

なし

補足

なし

(45) %UserName%

定数インデックス

1006

分類

システム定数

説明

現在ログオンしているユーザー名を取得する場合に使用する。

構文

%UserName%

パラメータ

なし

補足

なし

(46) %LoginName%

定数インデックス

1007

分類

システム定数

説明

現在ログオンしているユーザー名を取得する際に使用する。

構文

%LoginName%

パラメータ

なし

補足

現在の実装では%UserName%と同等。

(47) %UnInstallInfoFileName%

定数インデックス

1008

分類

システム定数

説明

アンインストール時のアンインストーラ情報ファイル名を取得する場合に使用する。

構文

%UnInstallInfoFileName%

パラメータ

なし

補足

なし

(48) %InstallInfoFileName%

定数インデックス

1009

分類

システム定数

説明

インストール時に使用されているインストーラ情報ファイル名を取得する場合に使用する。

構文

%InstallInfoFileName%

パラメータ

なし

補足

なし

(49) %UnInstallerFileName%

定数インデックス

1010

分類

システム定数

説明

アンインストーラのプログラム名を取得する際に使用する。

構文

% UnInstallerFileName %

パラメータ

なし

補足

なし